



●1990年2月3日号 No.01
●発行 (社)京都デザイン協会 KDA-NEWS委員会
●事務局 京都市東山区祇園町北側 ABL3階 〒605
TEL075(541)0239 FAX075(525)0294

KDA-NEWS



本郷夫人の熱唱



山本 村上 柴田 樽家 南澤各氏



嶋 久谷 田積 藤田 今西 恩地各氏



プロ並みの村上さん

KDAクリスマスパーティ報告

去る12月22日(金)PM6:30～ 東山区花見小路白川東 スカイビル5F サントロペにて「フライデーしましょ シャンソン・ド・KDA」と銘打った、KDA恒例のクリスマスパーティ兼忘年会が20名の参加者を得て華々しく開催された。(本当はもっと沢山のメンバーに参加して欲しかった=樽家サロン委員長)

お店のママさん自らが弾くピアノにのって久谷氏が「マイウェー」、村上氏が「枯れ葉」大木嬢が緊張のあまり歌詞を忘れてたりしながらリリーマルレーンの「パタンパタン(?)」を可愛らしく、山本新太郎氏が「ロマンス」南澤氏が「パリの屋根の下」、ゲストの本郷夫人が「夫婦の日」にピッタリの曲(?)「ラブ イズ オーバー」をそれぞれ披露していただき、ラストはみんなでクリスマスソングを可愛く元気よく合唱してお・ひ・ら・き となった。



KDA特別会員の河合 玲先生が

京都府産業功労賞を受賞

KDA特別会員の河合玲先生が、平成元年11月27日（月）に平成元年度京都府産業功労者として、京都府公館「レセプションホール」で他の受賞者8名の方々と共に表彰されました。受賞理由としては、

『創世期の京都ファッション界をリードするとともに、昭和30年の京都服飾デザイナー協会の設立に尽力。また、(株)レイデザイン研究所を設立し、プロデザイナーの養成をはじめファッション情報の提供（レイカラーブックの出版）、コンサルタント業務を行い、京都ファッション界の先導的役割を果たすとともに、地元繊維産地のファッション化を積極的に推進し、中でも丹後産地の服地（広巾）振興に多大の貢献をした。』（「京都府商工だより」より抜粋）となっています。先生の受賞は、私達KDAにとってもこれ以上の喜びはありません。本当におめでとうございました。今後とも益々ご活躍されんことをお祈り致します。

第4回理事会より

〔開催日時〕平成元年12月22日（金）

午後5時～6時

〔開催場所〕サントロペ（東山区）

＜出席理事＞柴田献一 南澤弘 藤田頼伯

今西慧 久谷政樹 尾崎要 田積司朗

恩地惇 大木ミヤ子

＜委任理事＞本郷大田子 宮川万樹夫

鈴鹿芳康 熊谷實 嶋高宏 阿部コウイチ

中村隆一 山本竜一 若林温子 黒竹節人

奈良磐雄

＜欠席監事＞藤川延子 富家宏泰

平成元年度 第4回理事会は、KDAクリ

スマスパーティの会場である、東山区花見小路白川東 スカイビル5F サントロペで開催された。

■第28回京都デザインコンペ'89 について久谷担当常務理事より報告。

第28回 京都デザインコンペ'89 の応募点数は 261点。前回は 322点で56点のマイナスであり過去最低となった。入場者数は4日間トータルで 911名だった。

理事会としては、前回の理事会でもお願いしたが、応募点数だけでは計れないとしながらも、応募点数の減少を率直に受け止め、今後のありかたを全面的に見直す必要があると判断し、次回コンペ開催に向け早急に企画を含めた検討に入ってもらうことにした。

■第10回京都デザイン会議について柴田理事長より報告。

去る10月27日（金）、第10回京都デザイン会議に関する第1回企画委員会が京デ協11団体代表企画委員の参加で開催された。KDAの企画委員として久谷担当常務理事が参加。テーマ、日程、会場、基調講演の講師、参加費用等に関する企画内容が検討された。企画内容に関する具体化に向け、実行委員を各団体から選出して頂き、詰めていくことになった。平成2年1月19日（金）PM6：15～ABLホール会議室にて第1回実行委員会を開くことに決定。

（企画案は第5回理事会報告に詳しく掲載するのでここでは省略＝編集部）

■第13回 京都ファッション市民大学について久谷担当常務理事より報告

日時は平成2年2月22日（木）に決定。講師については、京都生まれで、日本のみならず世界で活躍中の方をリストアップし、交渉を進めている。詳しい内容が決まり次第理事



会に報告する。

理事会としては、京都市、京都商工会議所からの企画委託であるので、今後ともよろしく詰めていって頂くよう依頼。

■尾崎担当常務より、平成元年度前期（4月1日～10月31日）の会計報告があり理事会はこれを承認した。

■事務局の冬休みを12月26日～1月7日までにすることが承認された。

■一般報告

各種団体からの印刷物の紹介。

■その他

●JIDA関西より、2月に開催されるイベントの後援依頼があり、理事会はこれを承認した。

（イベント内容は第5回理事会報告に掲載）

■京都府より、平成元年度京都デザインパイロット対策事業に対する後援の依頼があり、理事会はこれを承認した。

■（財）国際デザイン交流協会「国際デザイン展'89」への協力に対する礼状が届いた。

■（社）京都国際工芸センターより「工芸フォーラム」協賛に対する礼状及び参加ご案内が届いた。

第6回

デザイン団体対抗ゴルフ大会 報告

昨年11月11日（土）、北六甲カントリークラブ東コースのグリーン上では、神戸、大阪、京都のデザイン団体より7団体（11組）44名が親睦が目的とはいえ、団体の名誉を掛けた熱い戦いを繰り広げた。KDAのA組は健闘の結果、中位の6位をキープ。来年は何が何でも優勝を狙うと頑張ってもらいたい。

団体優勝 DAS

個人優勝 JID 福田 武 他2名

団体成績 KDA A組6位 B組9位

個人成績

	OUT	IN	GRS	H.D	NET	順位
松山	50	42	92	16.8	75.2	10
園部	53	44	97	20.4	76.6	18
田積	56	53	109	32.4	76.6	18
藤田	52	49	101	24	77	21
小椋	53	51	104	24	80	34
鯛天	58	61	119	38.4	80.6	37
大木	57	63	120	38.4	81.6	39
木村	59	64	123	38.4	84.6	40

<出場後記 藤田頼伯>

北六甲C、Cは距離もあり、非常にむずかしいコースであるが、快晴に恵まれ全員ベストをつくし、まずまずの成績であったが、A組にはもっと頑張ってもらいたかったとのお叱り。しかし、団体成績では3位との差は3.2打。来年はかなり上位にくい込む可能性あり。選手諸氏諸嬢のご精進を期待します。

第5回理事会より

〔開催日時〕平成2年1月23日（火）

午後5時～6時

〔開催場所〕東山荘

<出席理事>柴田猷一 本郷大田子

藤田頼伯 田積司朗 黒竹節人 山本竜一

大木ミヤ子 鈴鹿芳康 奈良磐雄

<委任理事>今西慧 南澤弘 宮川万樹夫

尾崎要 久谷政樹 熊谷實 嶋高宏

中村隆一 若林温子 恩地惇

阿部コウイチ

<欠席監事>藤川延子 富家宏泰

平成元年度 第5回理事会は平成2年度KDA新年会の開かれる東山荘で、新年会に先



がけて開催された。柴田理事長の「年号が改まり早くも平成2年になりました。今年もどうぞよろしくお願い致します。京都市・京都商工会議所主催、KDA企画協力の『ファッション市民大学』。京デ協主催の『第10回京都デザイン会議』等の大きな事業も年度内にやり終えなければなりません。さらに年度末までには役員改選の選挙も実施されます。KDAの現役員、委員、会員が力を合わせて現在残している仕事、次年度に引き継ぐべき仕事の整理等をタイムテーブルをにらみながら責任を持ってやり遂げたいものです。どうぞよろしくお願い致します。」と言う挨拶に続き、本郷副理事長が議長となり議案が審議された。

■第10回 京都デザイン会議 について本郷副理事長より報告。

去る1月19日（金）午後6時15分よりABLホール会議室にて、第10回 京都デザイン会議に関する第1回実行委員会が京デ協11団体代表企画委員の参加で開催された（京都伝統産業青年会、京都クラフトセンターは欠席）KDAからは企画委員の久谷担当常務理事、嶋担当常務理事が参加。議案審議に先立ち、実行委員長に本郷（KDA、京都国際工芸センター）、副実行委員長に久谷（KDA）各氏を互選、決定し、以下の議案審議に入った。

第10回 京都デザイン会議

◎テーマ 『新・風・流 はんなり』

◎会議日程 平成2年3月24日（土）午後
25日（日）午後

2日間の会議

第1日・基調講演（府・市首長）

- ・特別講演 赤瀬川原平氏（予定）
- ・各団体長によるビジュアルインフォメーションスピーチ
- ・各団体企画によるエキスカーシオン（体験分科会）

第2日・エキスカーシオンのビジュアル報告会

・パーティ&パフォーマンス

- ◎会場 メイン＝京都国際交流会館
分科会＝各団体の企画による
- ◎費用 基本参加料（10,000円）プラス
分科会会費（ ? 円）
- ◎参加者 各団体会員、一般、学生、行政
府・各地団体の招待者

以上の企画案に対し賛同が得られた。

続いて各団体の分科会企画案が報告されたが、団体によっては単独で実施するよりも、相乗り実施のほうが内容の濃い、ユニークな企画が考えられる可能性があるという意見もあり、相乗りも含めて、次回実行委員会までに実施案を文章化しておくことになった。

本会議の予算を裏付けるため、各団体が割当として25名×10,000円を責任拠出することを確認した。

次回実行委員会は1月30日（火）6時よりABLホール会議室にて開催。

KDAは京デ協の幹事団体でもあり、積極的に企画を推進しなければならない立場にある。分科会内容企画は久谷、嶋担当常務理事が立てる事とし、内容が決まり次第お知らせする事になった。

理事会としては久谷、嶋担当常務理事を全面的にバックアップする体制を組む必要がある事を確認した。

■第13回京都ファッション市民大学について鈴鹿担当理事より報告

京都市・京都商工会議所が主催で、KDAが企画協力しているファッション市民大学の内容が決定し、宣伝用リーフ及び申し込み用紙の印刷が出来上がった。記者発表も行った後での報告となるが時間の関係上いたしかなかったのでお許し願いたい。

『第13回京都ファッション市民大学』

- ・日時 平成2年2月22日(木)
開場12時30分 開講1時～4時30分
- ・会場 京都商工会議所3階講堂
- ・定員 350名 受講予約受付中
- ・一般 2,500円 学生 2,000円

テーマは『京、恋し。』パネラーには、京都生まれの京都市育ちで、現在日本全国、世界で活躍しておられる方と言うことで、井上章一(国際日本文化研究センター助教授)、高田公理(愛知学泉大・愛知学泉女子短大教授)、ばんばひろふみ(ミュージシャン)の各氏に決定。総合司会は今西慧氏(コピーライター)。内容に関しても、今まで参加して頂いた方にアンケートをお願いし、それを参考に進めて行きたい。アンケートの往復ハガキも印刷できたので、リーフレットと共に各界の方々に至急送付を予定している。当日の開会、閉会の挨拶は企画協力した立場からKDAのしかるべき人が担当することになったので人選をお願いしたい。

理事会としては、当日の挨拶を本郷副理事長か嶋常務理事をお願いすることに決定。企画立案調整に関しての久谷担当常務理事、鈴鹿担当理事、寺谷委員長、津守副委員長のご苦勞に感謝するとともに、出来るだけ多くのKDA会員が参加するよう強力に呼び掛けることを確認した。

■今年度のしめくくりに関して本郷副理事長より

柴田理事長の挨拶にもありましたように、本年度実施予定の事業に関しては各担当理事を中心に委員会、全会員の協力のもと完遂して頂きたい。さらに次年度への引継ぎのため、本年度事業のまとめを責任をもってやって頂いて頂きたい。役員改選の年でもあるので、理事会としては選挙管理委員会を設立させ準備、実施をお願いする。

理事会としては了承するとともに、選挙管理委員として樽家(前回選挙管理委員長)、園部両氏に委嘱、年度内に改選を終えられるよう準備に取り掛かって頂くようお願いし、総会準備に関しては、尾崎担当常務理事をお願いすることに決定。

■一般報告

・ポートフォリオ誌に、第28回 京都デザインコンペ'89 受賞作品の紹介記事がカラー2ページを使って掲載された。久谷担当常務理事、中村担当理事、鯛天委員長、平松委員(写真撮影担当)、藤田理事のご苦勞によるところが大きい。次回以降の応募者の増加に寄与すると思われる。

藤田理事より関連報告及び提案と言う形で、「ポートフォリオ誌の編集長が東京の有名なデザイナーと会った時の話で、このコンペの審査員は東京で活躍している人が多い、京都なら京都の独自性を出したほうがいいのじゃないか・・・と言う意見があったそうです。そういう意見も参考にして、次年度の第29回デザインコンペ'90の企画をスタートする必要がある。」との発言があった。

理事会としては、毎年、総会開催後に新委員会メンバーが決まり事業がスタートするというシステム上の制約があるため、KDAにとっての一大事業であるこのコンペの立ち上げが遅れる事は大きなマイナスであると考え、是正するため、次年度のデザインコンペ企画は年度中の現委員会が行い、そこでの決定事項はそのまま次年度の委員会に引き継がれ、スムーズに事業遂行が出来るよう本年度担当委員会をお願いすることに決定。

・各種デザイン団体より様々なデザイン関連情報の印刷物が届いている。会員諸氏もKDA事務局で閲覧利用していただきたい。



■その他

●JIDA（日本インダストリアルデザイナー協会）関西事業支部より2月7日（水）PM 2:00～4:30 大阪国際交流センターMETホール（大阪市天王寺区上本町 8-2-6）で開催される『ハイテク・パフォーマンス リニアエクスプレス』へのご案内および2名分のご御招待状を頂いた。KDAが後援にもなっているので、理事長とあと1名に参加して頂くことになった。会員の多数参加を要請。

●新しい歴史に向かって走ろう府民運動推進協議会より「京都府の草花」を制定するための公募を予定しており、公募に関する応募要領、募集ポスター、普及啓発ポスターを送るので対応して下さいと言う依頼状が届いた。関係印刷物はKDA事務局にて対応する。

●（社）京都国際工芸センターより、1月31日（水）PM2:00～8:00 京都国際交流会館イベントホール（京都市左京区栗田口鳥居町 2-1）参加料 9,000円 定員 150名で開催される

『工芸フォーラム 21世紀の工芸新たな役割』への参加ご案内が届いた。

KDAが後援団体になっているので会員の多数の参加を呼び掛ける事になった。

●（財）大阪デザインセンターより、1月25日（木）～30日（火）大阪・なんば 高島屋 7階特設会場 で開催される

『デザインフェアOSAKA'90』への参加ご案内が届いた。KDAニュースが届く頃には終了しているが、事務局で広報に協力する事になった。

●（協）京都クラフトセンターより、1月30日（火）PM12:00～2:30 祇園料亭 新三浦（クラフトセンター向い側）

会費 2,000円 講師 今西慧先生 テーマ「プライベート京都・新発売」で開催される『クラフト発信 世界に向けて』＜第22回発信塾＞ 塾長 伝来奈良二 のご案内が届い

た。これに関してもKDAニュースが届く頃には終了しているが、事務局で広報に協力する事になった。

●会員 井澤保夫氏のご母堂のご逝去に際しKDAから弔電を届けさせてもらうことにした。

平成2年度KDA新年会 開かれる

去る1月23日（火）、PM6:00より東山区栗田口三条下るの東山荘で恒例のKDA新年会がKDAサロン委員会（大木担当理事、樽家委員長）のお世話で開かれた。

柴田理事長の挨拶に続き、来賓の京都府商工部染織工芸課 大西正洋工芸課長、京都市経済局商工部伝統産業課 佐貫眞一係長にご祝辞を頂き、特別賛助会員の京都銀行、京都信用金庫、西陣信用金庫を代表して京都銀行の藤原氏に乾杯のご発声を頂きスタートした。

参加者は総勢26名で、昨年に比べては少し淋しかったが、それぞれのテーブルでは好き焼きの作り方にこだわりながら、楽しい懇談の輪が広がった。

京都銀行頭取、京都信用金庫理事長、今西KDA副理事長よりそれぞれ祝電を頂いた。



小川 鈴鹿 黒竹 大木各氏



柴田理事長



府 大西課長



市 佐貫係長



しめくりは本郷副理事長



乾杯のご発声は京銀 藤原氏



ゲストの席で熱弁をふるう田積氏



平木 園部 樽家 村上各氏



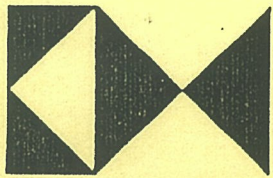
佐々木 菅原 橋本各氏

★編集室より★

明けましておめでとうございます。今年も
よろしくお願い致します。

KDAニュース12月号を発行しなければなら
なかったのですが、昨年12月16日から外国に

行かなければならなかったので失礼致しまし
た。今年も任期中はKDA発展の一助になる
よう発行を続けますので、情報提供よろしく
お願い致します。(奈良)



●1990年3月5日号 No.01
●発行 (社)京都デザイン協会 KDA-NEWS委員会
●事務局 京都市東山区祇園町北側 ABL3階 〒605
TEL075(541)0239 FAX075(525)0294

KDA-NEWS

第6回理事会より

〔開催日時〕平成2年2月22日(木)

午後5時～7時

〔開催場所〕京都商工会議所 3階役員室

＜出席理事＞柴田献一 本郷大田子 今西慧
嶋高宏 藤田頼伯 久谷政樹 尾崎要
黒竹節人 熊谷實 大木ミヤ子 中村隆一
若林温子 恩地惇 山本竜一 鈴鹿芳康
奈良磐雄

＜委任理事＞南澤弘 宮川万樹夫 田積司朗
阿部コウイチ

＜欠席監事＞藤川延子 富家宏泰

平成元年度 第6回理事会は第13回ファッション市民大学の終了後、引き続き同会館の役員室で開かれた。柴田理事長の「第13回ファッション市民大学も無事終了し、担当委員の方のおかげと感謝します。今回の企画も大変興味深く、勉強になりました。第10回デザイン会議も間近に迫り、担当理事の方々を中心に準備が進められていますが、皆さんのご協力を頂きますよう改めてよろしくお願いします。年度内に処理しなければならない問題も沢山ありますがどうぞよろしくお願い致します。」との挨拶の後、本郷副理事長が議長となり議事を進行した。

■第10回 京都デザイン会議 について久谷担当常務理事より報告。

前回理事会で報告した内容にしたがって実行委員会で準備作業が進行している。内容を紹介するリーフレット及び参加申込書の印刷

に入っており、3月上旬には刷り上るので大至急発送作業に入る。全体会議におけるKDAの役割担当者も決まった。

第10回 京都デザイン会議

◎テーマ 『新・風・流 はんなり』

◎会議日程 平成2年3月24日(土) 午後
25日(日) 午後

2日間の会議

第1日・基調講演(府・市首長)

- ・特別講演 赤瀬川原平氏(予定)
- ・各団体長によるビジュアルインフォメーションスピーチ
- ・各団体企画によるエクスカージョン(体験分科会)

第2日・エクスカージョンのビジュアル報告会

- ・パーティ&パフォーマンス

◎会場 メイン=京都国際交流会館

分科会=各団体の企画による

◎費用 基本参加料(10,000円)プラス
分科会会費(? 円)

◎参加者 各団体会員、一般、学生、行政
府・各地団体の招待者

各団体のエクスカージョン(分科会)企画案も決まり、それぞれの団体による準備も進んでいる。KDAの企画内容は嶋担当常務理事が報告。

KDAが企画するエクスカージョンは、KSK(京都建築設計監理協会)と合同で主催することになった。運営はKSK・KDAエクスカージョン実行委員会を設けこれに当たり、会計もKDAとは別に設ける。参加者

(定員50名)を早急かつ確実に確保するために全体会議への参加案内印刷物より先行して独自の案内状を会員宛てに発送する。エクスカーショ参加費用は10,000円とするが、この費用には会場借上げ代、食事代のみしか含まれていないので、ゲストギャラ、酒代、諸経費等の不足分はKSK・KDAエクスカーショ実行委員会が分担し賄うことになった。KDAは理事が中心になり一口30,000円の協賛金(1名の参加費が含まれる)を集める事とし、お願いの書類を各理事3枚あて配布したい。

第10回京都デザイン会議

第2部

KSK・KDAエクスカーショ

テーマ

「はんなり とは なんなり」

素晴らしい北白川・白砂村荘の庭園を眺めながら、お琴と艶笑落語、お食事と語らいの中で「はんなりとは・・・」を追及します。

内 容 露乃五郎師匠艶笑落語と琴演奏

と き 3月24日(土) 17:30 開場

18:00 開演

ところ 白砂村荘(橋本関雪記念館内)

京都市左京区浄土寺石橋町37

電話 075-751-0446

参加費 10,000円

定 員 50名

主 催 京都建築設計監理協会

(社)京都デザイン協会

以上の報告を受けて理事会はこれを承認した。藤田理事より「エクスカーショで樽酒を振舞うのであれば宝酒造に協賛依頼をしようか」との提案があり、お願いする事になった。

■第13回京都ファッション市民大学について 鈴鹿担当理事より報告

京都市・京都商工会議所が主催で、KDAが企画協力しているファッション市民大学が本日無事終了した。昨年10月より久谷担当理事、私、寺谷委員長、津守副委員長を初め多くの方々のご協力のもとに準備を進めてきた。中でも寺谷委員長の手慣れた企画、運営力に負うところが大きかった。有能な女性の力を



改めて感じると共に、今後若いメンバーの積極的な協力無しには発展は望めないと思う。

講師には井上章一(国際日本文化研究センター助教授)高田公理(愛知学泉大学・愛知学泉女子短期大学教授)ばんばひろふみ(ミュージシャン)各氏を招き、嶋常務理事が進行、今西副理事長(コピーライターとして)が総合司会をつとめ実にユニークな本音の多い話を聞くことが出来た。参加者が少なかったのがとても残念であったとの報告があった。

理事会は出席理事一人ひとりに感想や意見を聞いたがその主なものは、内容は面白かったが参加者が少なかったのが残念という意見が多く、チケットの販売、配布方法、開講時間、インフォメーションに問題が有るのでは、主催者が考えている受講対象者と企画内容にズレが有るのではというものが付け加えられた。今後も企画協力の形は続くのでKDAの一般会員がこの会議内容についてどう考えているのかも聞いた上で次回につなげていくこととし、理事全員が鈴鹿担当理事に拍手で感謝の意を表した。

■KDA新役員選挙について園部選挙管理委員長より報告

選挙管理委員会は園部、樽家、山本三人の委員で構成する。異存が無ければ前回の選挙方法を踏襲する。

理事会はこれを了承し、出来るだけ早い時

期に実施されるようお願いした。

■第29回 京都デザインコンペ '90について 中村担当理事より報告

去る2月19日(月)京都市との間で会議を持った。市の話では来年度予算として607万円を確保する見通しで、これは今年度予算の357万円より250万円増額した。今回までは市が予算の割振りを担当してきたが、次回からは京都デザインコンペ開催委員会を組織し、予算の使い方を含め全てそこで取り仕切っていく方向で考えて貰えないか、実質的なリーダーシップはKDAに取って貰いたい。さらに商工会議所が共催団体に参加したい旨を表明しているというものであった。KDAデザインコンペ委員会としては、かねてから賞金のアップをテコに応募作品のレベルアップを計りたいと要望してきており、ようやくその可能性が開けてきたと喜んでいる。スポンサーを地元企業に呼び掛けたり、大型ポスターを作成し宣伝にも力を入れたり、入選作品を東京をはじめ巡回展示をしたり、豪華パンフレットを作成し専門誌にアピールする等などの案を具体化に向け企画を詰めていきたいと報告した。

理事会はこの報告に大変喜ぶと共に、役員改選までに現委員会で改革案を早急に立てて頂くことを要請した。藤田理事は前回の理事会でも発言したがと断った上で、審査員の構成について京都らしさを出すためにも幅広い層から選んではどうかと提案した。柴田理事長は、建都1200年事業として国際的なデザインコンペも企画される可能性があるのもので、その受け皿になり得るような可能性を持ったイメージチェンジ案を是非作って貰いたいと付け加えた。

■財務関連について尾崎担当理事より報告

KDA事務局の家賃改定の話があり交渉の結果、現行13,800円から15,000円アップになる見込み。

KDA年会費の滞納者に対しては、財務担当と事務局が督促にあたる。

理事会はこれを了承した。



90.3.5号 No.03

KDA-NEWS

■平成元年度通常総会開催準備スケジュール について尾崎担当常務理事より説明

総会は年度終了後2か月以内に開催することになっている。その為の準備として各委員会の決算、事業報告をすでに終わっているものから整理し、3月中旬までに事務局へご提出下さい。

理事会はこれを了承した。

■一般報告

・関連団体より各種印刷物が送付されている。

■その他

・堺デザイン協会より設立5周年記念パーティへのご案内が届いた。3月9日午後6時よりホテルリバティプラザで開催される。柴田理事長の都合がつかないので藤田理事の都合が良ければ出席して頂く事になった。

・第41回京友禅競技代会の受賞式並びに祝賀会への出席のご案内が届いている。尾崎常務理事に柴田理事長代行として出席して頂く事になった。

KDA特別会員の岡本静子先生ご逝去

去る2月15日、(財)京都近鉄服飾学園の名誉学園長でありKDA特別会員の岡本静子先生がご逝去されました。心よりお悔やみ申し上げます。

密葬 2月17日 東京のご自宅にて
学園葬のお知らせ

と き 3月16日(金)

葬儀

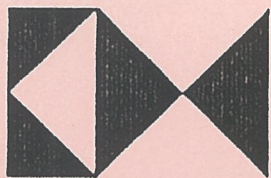
午後1時30分～2時30分

告別式

午後2時～3時

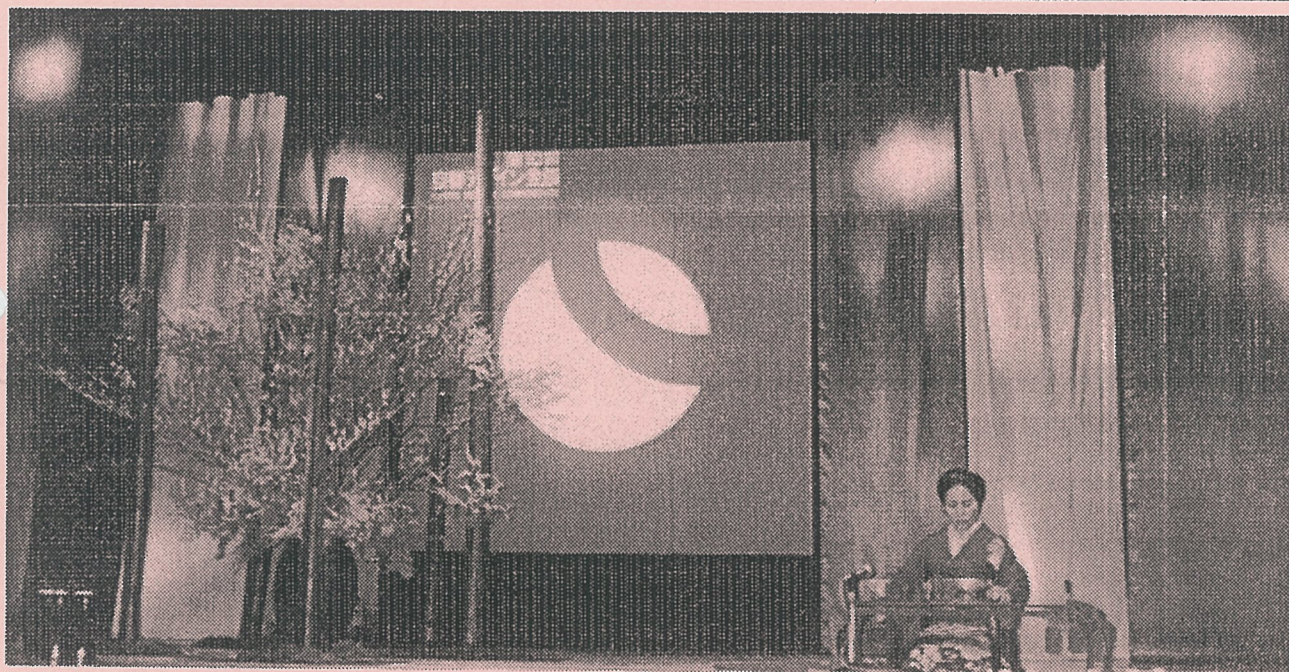
ところ 信行寺

左京区東大路仁王門西北角



●1990年4月10日号 No.01
●発行 (社)京都デザイン協会 KDA-NEWS委員会
●事務局 京都市東山区祇園町北側 ABL3階 〒605
TEL 075(541)0239 FAX 075(525)0294

KDA-NEWS



第10回 京都デザイン会議 無事終了

京都デザイン関連団体協議会が主催する京都デザイン会議が去る3月24・25日の両日にわたり開催された。今年で10回目を迎えたこの会議、1日目のオープニングは開館間もない京都国際交流会館ホールで通産省、府、市、平安建都1200年協会、商工会議所からの来賓をはじめ多くの参加者を迎えて行われた。嶋常務理事の司会で本郷実行委員長が開会宣言、柴田議長の開会の挨拶で会議はスタート。来賓挨拶のあと赤瀬川原平氏がスライドを交えた特別講演。休憩のあと各団体長によるパネルディスカッションが行われた。各団体の長が一同に会し21世紀に繋がるビジョンを語るということは大変興味深いものがあった。

今回の会議のもう一つの試みは、分科会を各団体が別々の場所に設定し、ビデオでそれぞれの会場の様子を記録し、翌日の全体会議

で報告するというものであった。

2日目の全体会議には人が集まらないのではといった心配もよそに、多くの参加者を迎え報告会及びパーティが開かれた。ビデオ報告会は黒竹理事の司会で各団体の分科会担当者がビデオを見ながら解説を加える形で進められた。それぞれ5～7分のダイジェストであったが各団体の趣向がよくわかり、面白楽しく報告を受けた。しめくくりのパーティは、くらち そこう氏の一弦琴の演奏とKDA会員の茨木善弘氏のいけ花の競演パフォーマンス鑑賞に続き、柴田議長の挨拶、来賓祝辞、KDA特別会員 西脇友一氏の乾杯のご発声でスタートし、和やかな懇親のあと本郷実行委員長の中締めの挨拶で2日間に渡るデザイン会議は無事終了した。

会議の詳しい内容は後日発行の会議録に掲載されます。

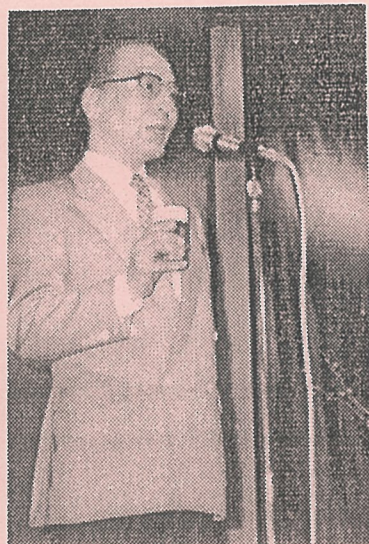


90.4.10号 No.02

KDA-NEWS



挨拶する柴田理事長



西協特別会員のご発声



パフォーマー茨木氏

KDA・KSK主催 体験分科会

3月24日(土)午後6時より左京区・白沙村荘にてKDA(京都デザイン協会)KSK(京都建築設計監理協会)共催による、第10回京都デザイン会議の分科会が開かれた。

雨の降りしきるあいにくの天候であったが、80名を越える参加者を迎えた。KDAの山本理事の進行で柴田KDA理事長が開会の挨拶、三輪KSK会長の乾杯のご発声でスタート。林由美子さんの琴演奏と庭に用意されたかが

り火の風情を楽しみながら食事。食事がすんで白沙村荘の主人橋本一氏の夫人の挨拶に続き分科会のメインイベント露乃五郎師匠の艶笑落語を鑑賞。大いに笑わせて貰ったあと師匠も参加しての鏡割り。升酒を飲みながらKDA会員の今川慶子さんの司会で「はんなり談義」に移った。9時近くまで出席者の多数から「はんなり」についての思い入れを語ってもらい、嶋常務理事の閉会のことばで無事お開きになった。この分科会の模様は翌日の全体会議のビデオ報告会で門脇英純氏の解説により報告された。



「はんなり談義」の今川さん



三輪、露乃、柴田氏による鏡割り

第7回理事会より

〔開催日時〕平成2年3月17日(土)

午後5時～7時

〔開催場所〕KDA・Cルーム

＜出席理事＞柴田献一 本郷大田子 今西慧

嶋高宏 藤田頼伯 久谷政樹 尾崎要

熊谷實 大木ミヤ子 中村隆一 若林温子

恩地惇 山本竜一 田積司朗 奈良磐雄

＜委任理事＞南澤弘 宮川万樹夫 黒竹節人

鈴鹿芳康 阿部コウイチ

＜欠席監事＞藤川延子 富家宏泰

平成元年度 第7回理事会は今西副理事長の開会挨拶に続き、本郷副理事長が議長となり議案審議に入った。

■第10回 京都デザイン会議 について久谷担当常務理事より報告。

準備作業に関しては全て順調に進んでいる。広報及び参加者募集のリーフレットはJAGDAの中山氏が制作担当をした。何度も校正したが結局直っておらず、会議当日に配布する分については印刷のやり直しをしている。本日7時より実行委員会を開催し最終確認をする。KDA実行委員の嶋常務理事、山本理事より次の補足説明があった。KDAとKSKが主催するエキスカーションの協賛企業募集についてはKSKが22社、KDAが15社と予定を大きく上回り集めることが出来た。会議参加者については本会議への参加者が目標に達していないので理事各位の努力をお願いする。

理事会は実行委員会の担当各位に感謝すると共に、会議が成功するよう全力で対応することを確認した。

■総会準備について

始めにKDA新役員選挙について園部選挙管理委員長より報告

前回の理事会で承認された通り前回の選挙方法を踏襲する。現在KDAの会員名簿を整理中で、これが整い次第投票用紙を会員全員に郵送する。



90.4.10号 No.03

KDA-NEWS

理事会はこれを了承し、出来るだけ早い時期に実施されるようお願いした。

続いて尾崎総務担当理事より総会の日取り決定と総会資料作成のため、各委員会よりの事業報告提出が早急になされるよう依頼があった。総会の日取りは5月22日(火)に内定した。

総会はセレモニー的要素が強く、会員の出席状態が良くないので、趣向を凝らしたパーティ、二次会を企画してもらいたいとの意見が出た。理事会はこれを了解した。

■第29回 京都デザインコンペ '90について 中村担当理事より報告

先日、久谷担当常務理事、鯛天委員長、京都市、他が集まり準備会を開いた。前回の理事会で報告したように、京都市のご努力で予算が増えた。さらに京都デザインコンペ開催委員会を組織し、予算の使い方を含め全てそこで取り仕切って行く事にし、スポンサーも取る方向で動くことになった。タイトルとしては『京都デザイン大賞コンペティション』とし、京都の地域特性を加味した『現代のデコレーション』をテーマとすることに決定したい。アート次元からデザインにアプローチしてくるような作品を期待したい。審査員も幅広いジャンルから選びたい。スポンサーに関するご意見も伺い反映したい。

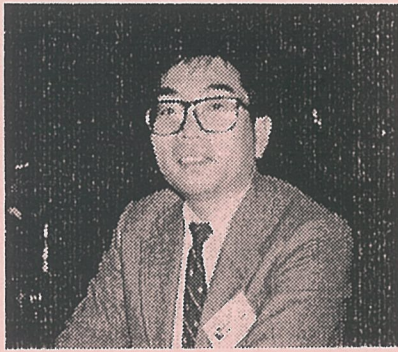
理事会はこの報告内容に沿った方向でさらに開催委員会で企画の具体化を進めていただくことで了承した。

■一般報告

・関連団体より各種印刷物が送付されてきている。

■その他

・MADE IN KYOTO ベストデザイン賞選定商品展の開催について京都府商工部より案内が届いた。



森本氏

・森本保彦氏の正会員入会について

今西副理事長、田積常務理事の推薦。大光印刷株式会社 グラフィックデザイン部門の係長。昭和34年生まれ。

理事会は森本保彦氏の入会を歓迎し承認した。

・鈴鹿芳康氏、越本正幸氏の退会願いについて意見が交わされた。

退会者は会に不満を持って辞めていくケースもあるが、退会に至るまでに不満や言いたいことを受け止めるシステムが無いのではないかと、理事会はそれを作る必要がある。

若い会員の活躍する場が無いのでは無いか。

若い会員にはどんどん仕事を手伝ってもらい、会の仕事や会員に早く馴れてもらうよう仕向ける。

会の趣旨をいま一度認識してもらい、自分で会に属しているメリットを見出してもらわないとどうしようもない。

退会者との関係を断ち切ってしまうのではなく、OBとしての関係は持続するよう考えられないか。

理事会としては問題が大きいので継続議題として取り扱うこととした。

鈴鹿氏に関しては久谷常務理事が退会理由を聞いており、致し方ないと判断。

越本氏に関しては今西副理事長が再度話をするようになった。

『方丈有理』デザイン展 開催される

去る3月28日(水)から4月8日(日)までの10日間、大本山相国寺 般若林にてKDA都市美観研究会のコアメンバーである恩地、真鍋、奈良が参加する「方丈有理の会」が'89 Design Year Eventの一つとして野外デザイン展を開催した。この会の提案は、道具、住居、都市の生活環境に対して「凝縮」「簡素」「共生」の3つのキーワードに集約されている。案内状のコピーには「飽食、生活倫理稀薄、資源浪費、地球汚染、生活秩序の枠組みが消えつつある今こそ、勇気ある新しい途を歩み始める時。そして混迷を救う強力な答えを私達は、私達の地域の気候風土が生み出した生活固有文化の中に見い出しました」とある。展覧会場のロケーションのユニークさもあいまって、地域の人々や、各種団体からの見学もあり話題を呼んだ。

尾崎要の描くハリウッド・スター似顔絵展

去る3月28日(水)から4月3日(火)までの一週間、KDA総務担当常務理事の尾崎要氏が五条七本松にある京都府中小企業総合センター5Fデザインルームでユニークな展覧会を開いた。日頃KDAでは財務担当ということで苦虫を噛み潰した様な顔をしておられることが多いが、この展覧会では全く別人の尾崎氏が出ており、日頃の氏を知る人には別の楽しみがプレゼントされた様である。

久谷政樹ポスター展

来る4月9日(月)から13日(金)までの5日間、久谷政樹常務理事が尾崎氏の後を受けて京都府中小企業総合センター5Fデザインルームでポスター展を開催する。氏の作品は一貫してシルクスクリーンで印刷されており、京都の伝統技法とコンテンポラリーな感性が織り成す重厚且つ軽妙な作風が特徴である。大阪で開催中の花博の国際陳列館のポスター連作も出品予定。



●1990年5月15日号 No.01
●発行 (社)京都デザイン協会 KDA-NEWS委員会
●事務局 京都市東山区祇園町北側 ABL3階 〒605
TEL075(541)0239 FAX075(525)0294

KDA-NEWS

第8回理事会より

〔開催日時〕平成2年4月26日(木)

午後6時～8時

〔開催場所〕KDA・Cルーム

＜出席理事＞柴田献一 本郷大田子 今西慧
嶋高宏 久谷政樹 尾崎要 大木ミヤ子
熊谷寛 中村隆一 若林温子 黒竹節人
山本竜一 田積司朗 奈良磐雄
＜委任理事＞南澤弘 宮川万樹夫 藤田頼伯
恩地惇 阿部コウイチ
＜欠席監事＞藤川延子 富家宏泰

平成元年度 第8回理事会は柴田理事長の
開会挨拶に続き、本郷副理事長が議長となり
議案審議に入った。

■第10回 京都デザイン会議 について本郷
副理事長より報告。

今回は第10回目という節目にあたり、2日
間にわたる会議であったが参加者には満足し
ていただけた内容であった。初日は雨で全体
会議の参加者も予想よりは下回ったが充実し
た内容であった。その夜のエキスカージョン
は8会場に別れて開催されたがそれぞれ大好
評であり、KDA・KSK主催の「はんなり
とは なんなり」は満員札止めの盛況であっ
た。2日目の報告会、パーティも盛り上がり
を見た。全体会議の決算の結果は 172,897円
の黒字との報告があった。これは参加団体に
25名分ずつの分担金を割り当てた結果であり、
運営としては成功したが、KDAの割り当て
分はKDA内で消化できなかった。この赤字

分はエキスカージョンの黒字分から補填する
方向で委員会に検討してもらっている。

8会場でのエキスカージョンの様子は一本
のビデオテープ(VHS)に編集されている
ので閲覧希望者はKDA事務局に申し出れば
貸し出してもらえる。

理事会は担当者のご苦勞に感謝すると共に
報告を了承した。

■第29回 京都デザインコンペ '90について
中村担当理事より報告

この4月の京都市の定期人事移動で、「京
都デザインコンペ」の担当者であった西口課
長、佐貫係長が移動してしまった。新任の担
当者である井上修一課長との話がまだ出来て
いないので、前回の理事会で報告した内容か
ら進展していない。早急に新任担当者との間
で前回までの取り決め事項を確認し、具体化
へ向けての行動を進めたいと考えている。

尾崎財務担当理事から総会資料の予算項目
に記載する必要があるので早急に予算を含め
た計画を提出してもらいたいと要請があった。

理事会としては、コンペの予算も大巾に増
える見通しなので、KDAのメイン事業とし
て取り組む事とし、担当スタッフの強化を計
る旨を確認し、今までの蓄積を無駄にすること
無く新たな担当者を交えた開催委員会で企
画の具体化を進めていただくことで了承した。

■尾崎総務担当理事より総会準備について

諸事情で前回理事会で内定していた5月22
日の総会開催は延期せざるを得なくなった。

予算に関しては'89年度をベースに作成し



たい。京都デザインコンペの企画が大巾変更になるので、この項目に関しては中村担当理事より早急に予算案を提出していただきたい。

委員会事業内容に関するコメントは、5月1日提出締切でお願いする。

'89年度決算は赤字であった。会員増の見込み違い、会費滞納、他団体よりのイベントチケットの預かり分が旨く償却出来なかった等が原因であった。赤字が出ることに 대해서는 予算の見直しが必要である。

この報告を受けて理事会は、総会は6月7日(木)5時から開催することに決定。

新理事会(臨時)は選挙の結果選ばれた新理事により5月22日(火)6時より開催されることに決定。

役員選挙の結果は得票数の多い順に上位25名を発表。今西慧、柴田猷一、尾崎要、嶋高宏、田積司朗、恩地惇、大木ミヤ子、本郷大田子、熊谷實、久谷政樹、藤田頼伯、黒竹節人、奈良磐雄、中村隆一、宮川万樹夫、若林温子、南澤弘、山本竜一、園部正晴、樽家紀治、上田年子、沢井敬子、鯛天成雄、寺谷玲、伊部京子

以上の方々から上位20名に受諾依頼をし、承諾頂く。若し辞退された場合は順送りで決める。

新監事は特別会員に順送りでお願いする。次期は河合玲、佐野武両先生。

■一般報告

- ・関連団体より各種印刷物が送付されてきている。
- ・デザインプラザ Vol.74 にデザイン会議の記事が掲載されている。

■その他

- ・清水忠義氏、杉本樹氏、高井紀子氏の正会員入会について
理事会は三氏の入会を歓迎し承認した。
- ・奥村厚人氏より病氣療養のため退会したい旨の退会願いが提出された。

氏の場合は病氣療養という理由であるので、休会の形をとってもらうことを勧めることになった。(会費、事業参加不要。期限は1年とし、延びる場合は再度審議する。)

・嶋担当常務理事よりABLホールを使つてのイベントについての報告。

KDA事務所のオーナーよりABLホールを使ってユニークなイベントを開催してもらいたいと依頼があり、とりあえず日を押さえた。今年9月と来年4月の2回で、内容は後日特別事業委員会で検討したい。

理事会はこれを了承した。

・京都国際ユーモリスト協会(代表 ヨシトミヤスオ氏)より1991年京都国際マンガ展への協賛(協力)依頼があった。

●主催 京都国際ユーモリスト協会
京都市国際交流協会

●後援 朝日新聞社 京都英国文化センター 関西日仏学館 京都市教育委員会(予定)

■オープニングパーティ

1991年1月31日 6:00~

京都市国際交流会館イベントホール
協力券 20,000円

■国際マンガ展

1991年1月31日~2月5日

大丸ミュージアム京都

■講演会・ワークショップ

京都市国際交流会館

1991年2月2日

『特別講演』 「ヨーロッパに於けるマンガの歴史と未来」

講師: ジェームズ・テラー(仏)

『ワークショップ』(先着50名)

「マンガに於けるデフォルメの方法」

講師: モーズ・デュボン(仏)

1991年2月3日



『ワークショップ』

「発想から表現まで」

講師：クリーブ・コリンズ

『シンポジウム』

「各国のマンガの現状と展望」

出席者：ジェームズ・テラー

モーズ・デュボン

クリーブ・コリンズ 他

司会：ヨシトミヤスオ

参加、協力出来る方は下記まで

京都国際ユーモリスト協会 事務局

〒606 京都市左京区岩倉中大鷺町10

コーポ305 TEL 791-3340

熊谷實氏が展覧会

KDA理事、トータルテキスタイルデザイナー熊谷實氏が、メイ・ブリーズ「5のそよかぜ」をテーマに、京都国際ホテル1階 ギャラリー・ラボにて展覧会を開催中、5月31日（木）まで。

KDAゴルフ大会 結果報告

4月24日（火）、東城陽ゴルフクラブにてKDA会員有志によるゴルフ大会が開かれ、熱戦が繰り広げられた。9月には『関西デザイナーズコンペ出場者予選会』がある。ゴルフに関心のある方は尾崎氏までご連絡を。

順位	氏名	OUT	IN	GRS	H.D	NET
優勝	阿部	50	53	103	22.4	80.6
準優	園部	45	46	91	8.8	82.2
3位	安田	52	49	101	17.6	83.4
4位	木村	45	57	102	17.6	84.4
5位	藤田	50	50	100	13.6	86.4
6位	増尾	51	53	104	17.6	86.4
7位	山仲	48	45	93	6.4	86.6
8位	小椋	49	48	97	10.4	86.6
9位	佐々浪	48	51	99	12.0	87.0
10位	松山	48	49	97	8.8	88.2
11位	尾崎	45	54	99	9.6	89.4
12位	宇治田	53	58	111	20.5	91.0
BB賞	丸尾	63	64	127	28.8	98.2
14位	大木	60	67	127	28.8	98.2

BG 園部 DC 安田 阿部

NP 安田 佐々浪

大波賞 木村 小波賞 園部 L賞 大木

第10回 通常総会

のお知らせ

6月7日（木）

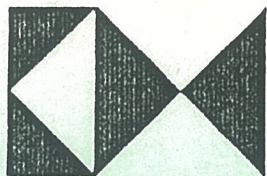
午後5時より

ABLビル 3F

ABLホール

KDA特別会員 奥田広幸先生ご逝去

KDA特別会員の奥田広幸先生がお亡くなりになり、5月1日に通夜、2日密葬、10日には向島の槇島会館にて柴田理事長が葬儀委員長となり本葬が執り行なわれました。奥田先生の生前のKDAに対する御尽力に感謝するとともに、先生のご冥福をお祈り致します。



●1990年6月20日号 No.01
●発行 (社)京都デザイン協会 KDA-NEWS委員会
●事務局 京都市東山区祇園町北側 ABL3階 〒605
TEL075(541)0239 FAX075(525)0294

KDA-NEWS

社団法人 京都デザイン協会

第10回 通常総会が無事終了

第四代理事長に今西慧氏 就任



(社)京都デザイン協会の第10回通常総会は平成2年6月7日(木)午後5時より、ABLビル3Fホールにて開催された。田積常務理事の司会で本郷副理事長の開会あいさつによりスタートした。

冒頭、柴田理事長は挨拶で「多くの来賓をはじめ賛助会員、会員の諸氏にお集まり頂き誠にありがとうございます。昨年度は'89 デザインイヤーの名のもとに多彩な行催事が開催され、KDAもそれらの多くに参画してきました。中でも、第10回京都デザイン会議は京デ協11団体の主催でありながら、終始KDAがリーダーとしての役割を果たし、2日間にわたる、かつて無い試みを見事成功に導きました。この他、京都デザインコンペ、京都ファッション市民大学、WFFワールドファ

ッションフェア、ITF国際テキスタイルデザインコンペ、HOPE計画、平安建都1200年記念事業等への積極的な実施ならびに提言・参画を行いました。

これらの成功は担当常務理事以下、理事、正副委員長、委員の責任ある行動とチームワークによるものと言えます。社団法人としての人格もここにきて社会に認めて頂けるようになってきたと言ってもいいでしょう。

本日は、前年度報告および今年度計画の発表がありますが最後までよろしくお願い致します」と述べた。

続いて、定款により柴田理事長を議長に、議事録署名人に会員の中から菅原良介、中川栄一氏を選任し議事に移った。

1号議案：平成元年度事業報告で本郷副理

事長が概略説明の後、担当理事、委員長が補足説明をおこない満場一致で承認された。

2号議案：平成元年度収支決算報告が尾崎担当常務理事よりあり、続いて富家監事により会計監査報告がおこなわれ、満場一致で承認された。

3号議案：会員移動状況報告が本郷副理事長よりなされ、特別会員の岡本静子、奥田広幸両先生のご逝去も同時に報告された。

4号議案：新役員選挙の結果報告が山本唯与志選挙管理委員よりあり満場一致で承認された。

5号議案：新役員の中からあらかじめ定款にそって内定していた役員人事の発表が本郷副理事長よりなされ、満場一致で承認された。

理事長：今西慧

副理事長：本郷大田子 尾崎要

常務理事：田積司朗 藤田頼伯 嶋高宏
久谷政樹 奈良磐雄

理事：大木ミヤ子 恩地惇 熊谷寛
黒竹節人 沢井敬子 園部正晴
鯛天成雄 樽家紀治 中村隆一
宮川万樹夫 山本竜一 若林温子

監事：河合玲 佐野武

(順不同)

柴田前理事長より3期6年にわたる理事長職退任の挨拶があり、全員がその労をねぎらい盛大な拍手を送った。

バトンを引き継いだ今西慧新理事長は「先人の偉業を振り返りますと、あまりにも偉大で、私にはそれがプレッシャーとして大きいのしかかってきます。今日から新たに皆で力を合わせて頑張りますのでよろしくご協力頂きますように」と就任の挨拶をした。

続いて、定款により今西慧新理事長が議長となり新年度の議事に移った。

6号議案：平成2年度事業計画が本郷副理事長より報告され、満場一致で承認された。

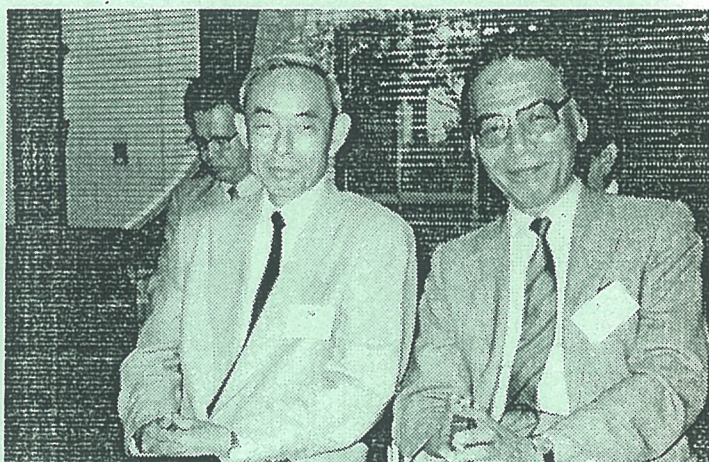
7号議案：平成2年度収支予算が藤田頼伯担当常務理事より発表され、満場一致で承認された。

議案審議がすべて終了し続いて、来賓の京都府 商工部染織工芸課 課長 辻本泰弘氏、



90.6.20号 No.02

KDA-NEWS



歴代理事長 柴田氏 西脇氏



監査報告をする富家監事



来賓 左から辻本課長 井上課長 鈴木部長

京都市 経済局商工部伝統産業課 課長 井上修一氏、京都商工会議所商工振興部 部長 鈴木省吾氏よりご祝辞を頂いた。それぞれにこれからの時代がデザインをさらに必要とする時代になるととらえ、KDAが社会的にもますます存在価値のある団体に発展することを期待する旨の温かい励ましであった。

祝電披露のあと尾崎要新副理事長の閉会挨拶で総会は無事終了した。



90. 6. 20号 No.03

KDA-NEWS



南澤氏の乾杯のご発声



歓談中の左から藤田 中川 宮川 石田 東郷 樽家の各氏



山本 諸江 尾崎の各氏



沢井 嶋 若林 久谷 中村の各氏 菅原 恩地氏



引き続き総会会場横のパーティ会場に席を移す前に、KDA都市美観研究会のメンバーである恩地淳、奈良磐雄、真鍋宗平が参加し、3月28日から4月8日まで大本山相国寺境内で開催した『方丈有理デザイン展』の記録ビデオの上映があり、今後の研究会への参加勧誘も行われた。

パーティは大木ミヤ子理事の司会で、いきなり南澤氏の風変わりな乾杯のご発声で和やかにスタートした。ご挨拶は賛助会員を代表して京都銀行 営業開発室長代理 藤原正人氏にお願いした。そのあと恒例の新入会員、賛助会員の紹介があり全員から温かく迎え入れられた。

紹介された新会員各氏は

森木保彦〔大光印刷㈱ 係長

専門：グラフィックデザイン〕

清水忠義〔㈱南家建築事務所 設計部課長

専門：建築設計（意匠デザイン）〕

杉本 樹〔杉本樹建築研究所所長

専門：建築設計デザイン〕

高井紀子〔堀林建築設計事務所

専門：建築デザイン〕

賛助会員 株式会社 ベストビジネス

（営業主任 新井正二氏）

パーティの締め括りに、特別会員の西脇友一先生から「初代理事長 林大功先生が4期8年勤め上げられた後、私が二代目理事長を引き継ぎ5期10年間勤め、三代目柴田理事長にバトンタッチ、柴田理事長は今日まで3期6年を見事に勤め上げられ、本日四代目今西慧新理事長が目出度く誕生したわけです。柴田前理事長のご苦勞に敬意と感謝を表するとともに、今西新理事長の下に皆さんが力を合わせてますますこのKDAを発展されるよう期待します」とのご挨拶を頂いた。

昭和42年5月『21世紀への新しい波を京都から！』を設立主旨としてスタートした京都デザイン協会は、第四代 今西慧 新理事長の誕生を機にまた新たなスタートを切った。21世紀は10年後の目前に迫っている。先人が育ててくれたKDA、自らの意志で参加したKDAの組織を、実りあるものにするのもまた会員諸氏の意志に委ねられている。



新旧 理事会 ① より

〔開催日時〕平成2年5月22日（火）

午後6時～8時

〔開催場所〕KDA・Cルーム

＜出席理事＞ 今西慧 本郷大田子 南澤弘
久谷政樹 尾崎要 宮川万樹夫 藤田頼伯
恩地惇 大木ミヤ子 熊谷實 中村隆一
若林温子 山本竜一 田積司朗 奈良磐雄
園部正晴 樽家紀治 沢井敬子 鯛天成雄
＜委任理事＞柴田献一 嶋高宏 黒竹節人
＜欠席監事＞藤川延子 富家宏泰

柴田理事長欠席のため今西副理事長が議長となり本郷副理事長の司会で議事が進行された。

■新執行部準備についての説明が今西副理事長よりあった。

過日行われたKDA役員改選の結果報告が4月26日の理事会で園部選挙管理委員長よりあった。会則に従い当選役員に受諾承諾の意志確認を書類で行ったところ、3名から辞退の申し入れがあった。辞退者の柴田理事長は体調不調で治療に専念したいため。南澤、上田理事は次点候補の顔ぶれを見て、KDAに対するキャリアのある方ばかりなので後輩に席を譲りたいという理由であった。会則に従い次点候補に繰り上がって頂くことになり、承諾の意志確認をしたところ承諾頂けたので本日の理事会から参加して頂くことになったと報告。理事会はこれを了承した。

本郷副理事長より総会で承認されるまでは正式役員でないとしながらも、選挙結果であるのでこのメンバーで総会までの準備を進めたいとの発議があり全員これを了承した。

まず理事長選出を南澤氏立ち会いのもと会則に従い新理事の中から互選した結果、今西慧氏を新理事長に決定した。

選挙後すぐ今西新理事長は「理事長には若い人になってもらいたいと考えていたが、選挙の結果、私が選ばれたので、世代交替になっていないが選ばれた以上はしっかりやりたい。柴田前理事長は幅広い見識をもってやってこられたが、私は世事にうといので皆様のお力添えをお願いします。」と挨拶した。

続いて会則に従い理事長による副理事長選任が行われ、本郷、尾崎両氏が選任された。

常務理事は正副理事長によって選任し、次回理事会で発表されることになり、全員これを了承した。

■総会について

6月7日（木）午後5時よりABLホールで開催される第10回通常総会に関する打ち合わせを行った。

総合司会を田積常務理事が、事業報告のメインを本郷副理事長が、細部はデザイン会議について山本理事、デザインコンペについて中村理事、受託事業について久谷常務理事、KDAサロンについて大木理事、KDAニュースについて奈良理事、都市美観研究会について恩地理事が、収支決算については尾崎担当常務理事が、役員改選結果報告は選挙管理委員の山本唯与志氏が報告することに決めた。

■岡本寿氏の休会届けについて。

岡本寿氏より日図の役職、町内会の役職が重なり、多忙になったため2～3年休会させて頂きたいとの休会届けが提出された。検討の結果、事業は免除、会費は払って頂く形で了承する旨、推薦者の熊谷理事に話しをしてもらうことになった。

■KDA特別会員の奥田広幸先生の葬儀が、去る5月10日、柴田KDA理事長が葬儀委員長となり無事執り行なわれた。あらためてご冥福をお祈り致します。



●1990年7月25日号 No.1
●発行 (社)京都デザイン協会 広報事業委員会
●事務局 京都市東山区祇園町北側 ABL3階 〒605
TEL 075(541)0239 FAX 075(525)0294

社団法人 京都デザイン協会

KYOTO DESIGN ASSOCIATION

第1回理事会より

〔開催日時〕平成2年6月21日(木)

午後7時～9時

〔開催場所〕ABL会議室

＜出席理事＞今西慧 本郷大田子 尾崎要
田積司朗 藤田頼伯 嶋高宏 久谷政樹
奈良磐雄 恩地惇 大木ミヤ子 熊谷實
沢井敬子 鯛天成雄 樽家紀治 山本竜一
宮川万樹夫 若林温子
＜委任理事＞黒竹節人 中村隆一 園部正晴
＜出席監事＞河合玲
＜欠席監事＞佐野武

本郷副理事長が議長となり議事を進行。

■第10回通常総会の報告

平成2年6月7日(木)午後5時よりABLホールで開催された第10回通常総会の報告が資料を参照しながらなされ、さらに6月12日に来賓、関連団体、特別賛助会員他にお礼状を送ったとの報告もあり、理事会はこれを承認した。(総会およびパーティの詳細は前号のNEWSで既報)

■今西慧新理事長の所信表明。

「理事長に就任し2週間が過ぎました。自分なりに京都デザイン協会のことを勉強し、色々なことが判りました。問題点を解決するため頑張りたいと思います。“所信”というよりもかくありたいと思うことをランダムに列記しましたので、それに沿ってお話します」

と始まり、

●KDAという仲間うちの略号は使わず、京都デザイン協会と正確に表現するようにしたい。

●事務局能力は一人ではこなせない。過去の努力は認めるものの、システム化が進んでおらずファイル等の整理が完全でない。

総務理事、委員会に全面的にタッチしていただき整理したい。

●財務理事を中心に現財政をチェックして、早急に経理機能を強化する方策を立てたい。

●尾崎副理事長から6月7日の総会でも説明があったように、会費収入が100%でも現段階では何も出来ない。

会費の値上げも考えたが、少なくとも10年間は上がっておらず、社団法人10周年は来年なので、平成3年度に改訂を考えると、今年度は見送る。

となると会員増強しかない。若手会員を入れないと90年代後半は先が見えている。

●正会員(入会金30,000円、年会費30,000円)賛助会員(1口30,000円)の両会員を積極的につのる。3か月で倍増を目標に。

●会員規定等に関する定款の見直しをしたい。

①正会員:10年以上経験のあるデザイナー及びデザイン業務に携わる人。

に関して、10年以上経験のあると同等の力量を持つと理事会で認められた人に、またデザイン業務もジャンルの拡大に対応出来るようにしたい。

②特別賛助会員:1口10万円とあるが、お願いして2口いただいている。

1口でもよいということの確認

をしたい。

③准会員：経験10年未満（いずれ正会員になるべき人）

現在2名の准会員（二村、千賀さん）がいるが当然正会員になっていただく資格もあるのでなっていたきたい。

●本年度の会費請求が理事長名義変更到手間取り、遅れている。7月初旬に準備ができ、請求をして何%回収できるかが気になる。

●各種事業が行われるが、当分のあいだすべて単独会計でお願いしたい。

●「KDAニュース」は今まで内部向けの内容であり、殆ど外部に渡っていない。外部リストの充実をはかり、外部向けのものも制作し広報を強化したい。

●来年は創立25周年、社団法人化10周年に当たるので、対外的に有効なイベントとパーティをやる方向で考えたい。

の説明があった。

■各事業ごとの各委員会計画の発表および会員各位のネットワーク化について。

事業担当常務理事及び委員会担当理事の配置が決まったので、それぞれの委員会より会員各位にもれなく参加していただく形で、希望者の人選リストアップを急ぎ、理事会で調整後ただちに活動に入ることが承認された。

■財務上の問題と新会員の増強および会員資格の再検討（拡大化）について。

今西理事長の所信表明にあったように、財政上の問題解決の一つの具体策として会員増強が上げられ、理事長以下会員全員が具体的な数字が提示された。

理事長=10、副理事長（5）×2=10、

常務理事（3）×5=15、理事（2）×12=24、会員（0.5）×60=30 合計89人

割り当てられた目標人数に現実味があるかとの指摘もあったが、とにかく3か月で倍増を目標に頑張ることです承された。

会員資格の再検討（拡大化）については、10年の経験を同等の資質に拡大解釈、デザイン業務の拡大化に対応すべく、広くクリエイ



1990年7月25日号 No.2

社団法人 京都デザイン協会
KYOTO DESIGN ASSOCIATION

ティブ関係の人材を個人の資格で、会員推薦を尊重する方向で内諾を得た。

入会希望者に記入していただくカードの書式も出来るだけ簡単なものに改め、6月中に作成することで了解した。

准会員は会員の底辺を拡大する意味合いを重視し存続させることになった。

■各委員会活性化と京都デザイン協会親睦ハワイアンサロンについて

交流事業の親睦委員会が他の委員会活動に先行し、各委員会活性化と京都デザイン協会親睦を目的に8月23日（木）に（財）京都市職員厚生会職員会館（銅駝美術工芸高校北側）にてハワイアンバンドの音楽を聴きながらのサロン開催企画が進行中。この中に柴田前理事長慰労のコーナーも企画されている。

新体制になって初めての大々的なイベントになるので、嶋担当常務理事、大木担当理事を中心に企画、準備を進めて頂くことです承。

■第29回京都デザイン大賞コンペ'90 に関する報告

久谷担当常務理事より刷り上がったばかりのパンフレットをもとに説明があった。

今回から京都市、京都商工会議所、（財）平安建都1200年協会、（社）京都デザイン協会の四者共催になった。各団体から委員が出席し委員会で企画運営がなされる。事務局長には京都デザイン協会の今西理事長がなり、京都デザイン協会からの委員には昨年度からの継続で久谷担当常務理事、中村、鯛天担当理事が出席し企画されてきた。事務局は京都市に置かれ、京都デザイン協会の事務局は連絡先として機能する。予算は京都市607万円、京都商工会議所20万円、（財）平安建都1200年協会20万円、（社）京都デザイン協会30万円をそれぞれ負担し、総額677万円の大型になった。作品賞は大賞100万

円をはじめ多くの賞が予定されているが、スポンサー特別賞、協賛特別賞は初めての試みで企業に対するお願いの実務が控えている。

出品手数料2000円×出品点数が京都デザイン協会の収入になるので、何が何でも出品者掘り起こしに会員の総力を集中する必要がある。

予備審査の審査員は京都デザイン協会から選抜するが、若い会員にも参加して頂く予定。

審査員は現在交渉中の方も含まれるので、固まり次第もう一度新たなパンフレットを制作し配布する予定。(予定審査員:乾由明氏、喜多俊之氏、コシノヒロコ氏、高松伸氏、田中一光氏)

本来ならば全て確定してから制作するのが正しいが、出品をあてにできる専門の学校関係が夏休みに入る前に広報したいという気持ちが先走った。

パンフのデザインは鯛天理事に担当して頂いた。

作品搬入は11月6日(火)午前9時30分～午後4時、日図デザイン博物館。

入選作品の展覧会は12月4日(火)～9日(日)午前10時～午後5時 日図デザイン博物館にて。

一応の準備が出来たので広報に取り掛かれる部分からどんどんパンフを送っていく事と詰めに必要な部分は早急に詰めて頂くことで了承。

■その他

○京都府福祉部福祉課、新しい歴史に向かって走ろう府民運動推進協議会より「ボランティア・シンボルマーク」公募事業に対する後援依頼があった。

名義使用は了承。公募がスムーズに進むよう広報部分でも協力することで了解。

○京都府中小企業対策協議会委員の委嘱があった。

京都デザイン協会の理事長になることになっているので了解。

○京都市染織試験場 平成2年度常任幹事会及び総会の開催についての案内があった。



1990年7月25日号 No.3
社団法人 京都デザイン協会
KYOTO DESIGN ASSOCIATION

理事長が出席することで了解。

○デザインキョート「平成元年度京都デザインパイロット対策事業報告書」の送付と情報交換のお願いがあった。

締切が済んでしまっている所以对応できないということで了解。

○「第4回国際デザインキャンプ'90 松本」への参加要請があった。

本郷副理事長が主催団体の(財)国際デザイン交流協会、松本デザイン交流会議のスタッフとして出向していることもあり、可能な限り出席して頂くよう働き掛けることで了解。

○(有)タナカ印刷紙工社、賛助会員入会について。

会費も振り込んで頂いており、歓迎することです了解。

○ファッションネットワーク京都推進委員会設立に関する懇談会への出席要請があった。

6月22日 商工会議所役員室 11時～1時
理事長出席できないので、事務局の諸江さんに出席して頂き、内容を聞いてきて頂くことで了解。

○NDKサマーセミナー&パーティのご案内があった。

7月11日(水) 京都ホテル3F

セミナー 5時45分～

パーティ 7時～

講師:成瀬國晴(イラストレーター)

「東洲斎写楽とファッションドローイング」

7月4日参加申込み締切

◆宮川理事より広報活動の一貫として、以前やっていた京都の企業を対象にした『マーク100選』のような出版企画を考え、企業との交流を密にしていってはどうかという意見を頂いた。

◆山本理事より会員もどんどん増やす方向にある中で、現有会員のインフォメーションがなく個人的に連絡したくてもやれないことが

ある。まず会員の名前、専門分野、TEL、FAXをまとめたリストだけでも欲しい。

各種委員会の委員構成が確定した段階から担当部署で企画に入ることです承。

最後に、河合玲監事の「皆さんの活発な意見を聞かせていただいて、楽しみな会であるなと思いました。京阪神の色々な団体との共催事業等も今後やっていってはどうでしょう」とのご挨拶を頂き閉会した。

第2回理事会より

〔開催日時〕平成2年7月18日（水）

午後6時30分～9時

〔開催場所〕ABL会議室

＜出席理事＞今西慧 本郷大田子 尾崎要
田積司朗 藤田頼伯 嶋高宏 久谷政樹
奈良磐雄 大木ミヤ子 熊谷實 沢井敬子
園部正晴 樽家紀治 山本竜一 若林温子
＜委任理事＞宮川万樹夫 中村隆一 恩地惇
黒竹節人 鯛天成雄
＜欠席監事＞佐野武 河合玲

今西理事長の「あわただしい中、理事の皆さんにお集まり頂きありがとうございます。すでに郵便物で会費の請求、新入会員の審議、新入会員勧誘に関して等、色々なお願いをしておりますが、その確認も含めてよろしくご審議お願い致します。」との挨拶に続き、尾崎副理事長が議長となり議事進行した。

■財務状態及び業務運行に関して藤田担当常務理事より説明があった。

前年度の尾崎担当常務理事より引継ぎの説明を受け、自分なりに財務状態をチェックしたところ大変困窮していることを確認した。担当常務理事として姿勢を正し、毎月の収支をチェックしベターな方法で立て直しの努力したい。と前置きした上で、

●収入のベースは会費収入のみなので、事業



1990年7月25日号 No.4

社団法人 京都デザイン協会
KYOTO DESIGN ASSOCIATION

収入を増やし不足分を補填するよう努力して頂きたい。

●関連団体との助成金に関する収支バランスが悪いところがあるのでシビアーにチェックし実行したい。

●会費未収分の回収努力。理事長名で7月31日締切の請求を実施、それ以降未収分は個別に連絡を取り回収する。自動引き落とし制度導入に関する研究を継続する。

●各事業部で事業を起こす際、事前に計画書、見積書を財務委員会に提出し、了承を得てか実施に移っていただく。

●デザイン展の出品料が大きな収入源になるので今回は500点×2000円を目標としたい。

●受託事業からの納付金は10%以上をお願いする。

と、具体的な方策を説明し了解を得た。

若林総務担当理事から、事務的な書類等の整理についても書式を定め効率良く管理したい。来年に控えた25周年記念式典、事業に関する準備も進めると説明があり了承された。

■事業運営組織メンバーの調整と決定。

各事業、各委員会より希望の出ていたメンバーの突き合わせと調整を行い、全員がいずれかの委員会に属す形で決定された。（別紙）

■会員の入退会について。

6月7日の総会以降、会員増強活動の結果入会内諾を得た方に関する理事会としての可否審議が行われ、以下の方の入会が認められ8月1日より会員活動に参画していただく事が承認された。

＜正会員＞

氏名	分野	備考
千賀 伸一	ファッション	準会員より昇格
二村 春臣	写真	準会員より昇格
小川 幸雄	陶芸	（委員長）

藤田 正毅 服地手描染色 ミフジデザイン
大和 文昭 和装 懶和座
小山 和 ジュエリー 懶キャラ
佐々浪昌夫 テキスタイル
永田 義博 グラフィック 懶日商社
大野 好之 グラフィック グッドマン
本田 寿子 アーティスト
中井 哲幹 コピーライター
森 清史 プロデューサー
八木佐希也 建築 懶吉村建築事務所
<賛助会員>

懶田中印刷紙工社 代表 田中満

(第1回理事会で承認済み)

<特別賛助会員>

武田病院

敬称略

■「京デ協」事務局に関する件

今西理事長より報告。前年度まで柴田前理事長が議長を務めていた「京デ協」の団体長会議があり、今年度から京都設計監理協会の三輪泰司理事長が議長に就任した。柴田前理事長は会長職に就任。「京デ協」の事務局を京都デザイン協会が引き受けて貰えないかとの要請があり。引き受けるに際しての諸条件を上げて団体長会議に預けてある。7月24日の会合で条件が認められれば引き受ける事になる。理事会はこれを了承した。

■交流事業 親睦委員会企画の“親睦ハワイアンサロン” チケット販売について。

嶋担当常務理事より報告及び提案。8月23日(木) (財)京都市職員厚生会職員会館“かもがわ”(銅駝美術工芸高校北側)で開催する“親睦ハワイアンサロン”の内容が殆ど決まった。本格的ハワイアンバンド及び京都デザイン協会会員有志によるハワイアン同好会のジョイントコンサートを目玉に、楽しい企画が盛り沢山で、会員及び同伴者の方々と楽しく親睦が計れるように計画されている。運営経費に関しては独立採算でやらねばならないので、可能なかぎり多くの会員及び同伴者の参加が必要。参加費は現在のところ



1990年7月25日号 No.5

社団法人

京都デザイン協会
KYOTO DESIGN ASSOCIATION

一人6000円を予定。8月上旬、理事長名で会員全員に案内の書類が郵送される。赤字が出ると困るので、理事は2枚(12000円)を確実に負担していただきたい。さらに担当の委員会のメンバーに出来るだけの参加を呼び掛けて頂きたい。

理事会は会員同志の親睦がまず第一で、多くの会員が参加されるよう呼び掛けの努力をすることと、チケット2枚の負担を了承した。

■会員展、賛助会員との交流事業について。

嶋担当常務理事より報告。前年度理事会で予告していた、9月11、12、13日の3日間、ABLホールを使つての会員展、賛助会員との交流事業の企画を早急に立てなければならぬ時期がきた。具体的には何も決まっていないが、会員展は会員全員が簡単に表現できるテーマにもとづく作品展。賛助会員との交流事業は賛助会員に興味を持って頂ける内容のセミナー開催。スピーカーは会員全員か選抜でリレートークをしてはといったダミープランがある。8月上旬には会員へ案内をしなければならぬので、交流事業部局以外からの人的協力も得て早急に企画立案したい。

理事会としては、今まで賛助会員の方々になにもメリットのある事をさせて頂けなかった穴埋めの第一歩としても、内容のあることを実施する必要があるので交流事業部局を中心に詰めを急いで頂くことで了承した。

■京都デザイン協会25周年記念準備について。

尾崎副理事長より提案。来年に控えた京都デザイン協会25周年記念事業に関する準備は総務、事務局が中心になり、秋以降に企画をスタートすることにしたい。

理事会はこれを了承した。

■京都商工会議所商工新興部への提案事業に関して。



今西理事長より提案。6月22日 商工会議所で開催された「ファッションネットワーク京都推進委員会設立に関する懇談会」の場で、「ファッションネットワーク京都推進委員会」を設立することが決った。京都デザイン協会としては、そこで何をすればいいかの企画立案をし提案することで事業化の可能性が考えられるので、10月末までに開発事業部局で立案していただくようお願いしたい。

理事会は田積担当常務理事の開発事業で考えて頂くことで了承した。

■京都デザイン大賞コンペ'90 について

久谷担当常務理事、今西理事長（運営委員会委員長）より報告。特別スポンサー賞（20万円）のスポンサー探しが進行していたが、現在の所7社の内諾が取れている。審査員にお願いしていた高松伸氏、コシノヒロコ氏の都合がつかず、高松氏はこのまま残し、コシノ氏の代わりをファッション界から至急探す必要がある。久谷担当常務理事の方で心当たりが無い場合は、今西理事長が人選、交渉する。事前審査に当たる会員審査員リストを8月中旬に作成する必要がある。

理事会は企画事業 コンペ委員会を核とした出品者増に対する可能な限りの活動をするこの再確認を含めて了承した。

■事務局夏季休暇について

8月1・2・3

13・14・15・16・17

とすることです承した。

■その他

○事務局の諸江さんに藤田財務担当常務理事より賞与が手渡された。

○交流事業 受託委員会が成果を上げてきた「長浜ちりめん工業組合よりの地場産業活性化計画」受託事業継続の依頼が再び先方よりあり、嶋担当常務理事が契約書の試案を作成し先方に呈示した。

○福祉機器デザインコンペ実行委員会より福祉機器デザインコンペ'90 KYOTOの実施要項（案）が届き、打ち合わせの会議に出席してほしいとの依頼があり、今西理事長が出席することになった。

○日図デザイン博物館主催「第13回京都こども美術展」の作品審査（8/3）、表彰式（8/12）への出席依頼があり、今西理事長が出席することになった。

○本郷副理事長より（財）国際デザイン交流協会、松本デザイン交流会議が主催する『第4回国際デザインキャンプ'90 松本』への参加勧誘アピールがあった。

○理事会に欠席する理事は、理事会の決定に従う事が確認された。

○京都デザイン協会のアイデンティティに関して色々意見が交わされた。

最後に本郷副理事長が「公益法人である京都デザイン協会が、理事を中心に、会員皆が力を合わせその目的を果たせるよう頑張らましよう・・・」と締めくくった。

暑中お見舞い申し上げます。

広報事業部では京都デザイン協会の活動を広く内外に知らせ、活性化に役立ちたいと考えています。会員諸氏のレーダーに感知した諸々の情報をお寄せください。

* 京都デザイン協会ニュースのロゴタイプを目下制作中です。



●1990年7月25日号 No.1
●発行 (社)京都デザイン協会 広報事業委員会
●事務局 京都市東山区祇園町北側 ABL3階 〒605
TEL 075(541)0239 FAX 075(525)0294

社団法人 京都デザイン協会

KYOTO DESIGN ASSOCIATION

第1回理事会より

〔開催日時〕平成2年6月21日(木)

午後7時～9時

〔開催場所〕ABL会議室

＜出席理事＞今西慧 本郷大田子 尾崎要
田積司朗 藤田頼伯 嶋高宏 久谷政樹
奈良磐雄 恩地惇 大木ミヤ子 熊谷實
沢井敬子 鯛天成雄 樽家紀治 山本竜一
宮川万樹夫 若林温子
＜委任理事＞黒竹節人 中村隆一 園部正晴
＜出席監事＞河合玲
＜欠席監事＞佐野武

本郷副理事長が議長となり議事を進行。

■第10回通常総会の報告

平成2年6月7日(木)午後5時よりABLホールで開催された第10回通常総会の報告が資料を参照しながらなされ、さらに6月12日に来賓、関連団体、特別賛助会員他にお礼状を送ったとの報告もあり、理事会はこれを承認した。(総会およびパーティの詳細は前号のNEWSで既報)

■今西慧新理事長の所信表明。

「理事長に就任し2週間が過ぎました。自分なりに京都デザイン協会のことを勉強し、色々なことが判りました。問題点を解決するため頑張りたいと思います。“所信”というよりもかくありたいと思うことをランダムに列記しましたので、それに沿ってお話します」

と始まり、

●KDAという仲間うちの略号は使わず、京都デザイン協会と正確に表現するようにしたい。

●事務局能力は一人ではこなせない。過去の努力は認めるものの、システム化が進んでおらずファイル等の整理が完全でない。

総務理事、委員会に全面的にタッチしていただき整理したい。

●財務理事を中心に現財政をチェックして、早急に経理機能を強化する方策を立てたい。

●尾崎副理事長から6月7日の総会でも説明があったように、会費収入が100%でも現段階では何も出来ない。

会費の値上げも考えたが、少なくとも10年間は上がっておらず、社団法人10周年は来年なので、平成3年度に改訂を考えると、今年度は見送る。

となると会員増強しかない。若手会員を入れないと90年代後半は先が見えている。

●正会員(入会金30,000円、年会費30,000円)賛助会員(1口30,000円)の両会員を積極的につのる。3か月で倍増を目標に。

●会員規定等に関する定款の見直しをしたい。

①正会員:10年以上経験のあるデザイナー及びデザイン業務に携わる人。

に関して、10年以上経験のあると同等の力量を持つと理事会で認められた人に、またデザイン業務もジャンルの拡大に対応出来るようにしたい。

②特別賛助会員:1口10万円とあるが、お願いして2口いただいている。

1口でもよいということの確認

をしたい。

③准会員：経験10年未満（いずれ正会員になるべき人）

現在2名の准会員（二村、千賀さん）がいるが当然正会員になっていただく資格もあるのでなっていたきたい。

●本年度の会費請求が理事長名義変更到手間取り、遅れている。7月初旬に準備ができ、請求をして何%回収できるかが気になる。

●各種事業が行われるが、当分のあいだすべて単独会計でお願いしたい。

●「KDAニュース」は今まで内部向けの内容であり、殆ど外部に渡っていない。外部リストの充実をはかり、外部向けのものも制作し広報を強化したい。

●来年は創立25周年、社団法人化10周年に当たるので、対外的に有効なイベントとパーティをやる方向で考えたい。

の説明があった。

■各事業ごとの各委員会計画の発表および会員各位のネットワーク化について。

事業担当常務理事及び委員会担当理事の配置が決まったので、それぞれの委員会より会員各位にもれなく参加していただく形で、希望者の人選リストアップを急ぎ、理事会で調整後ただちに活動に入ることが承認された。

■財務上の問題と新会員の増強および会員資格の再検討（拡大化）について。

今西理事長の所信表明にあったように、財政上の問題解決の一つの具体策として会員増強が上げられ、理事長以下会員全員が具体的な数字が提示された。

理事長＝10、副理事長（5）×2＝10、

常務理事（3）×5＝15、理事（2）×12＝24、会員（0.5）×60＝30 合計89人

割り当てられた目標人数に現実味があるかとの指摘もあったが、とにかく3か月で倍増を目標に頑張ることです承された。

会員資格の再検討（拡大化）については、10年の経験を同等の資質に拡大解釈、デザイン業務の拡大化に対応すべく、広くクリエイ



1990年7月25日号 No.2

社団法人 京都デザイン協会
KYOTO DESIGN ASSOCIATION

ティブ関係の人材を個人の資格で、会員推薦を尊重する方向で内諾を得た。

入会希望者に記入していただくカードの書式も出来るだけ簡単なものに改め、6月中に作成することで了解した。

准会員は会員の底辺を拡大する意味合いを重視し存続させることになった。

■各委員会活性化と京都デザイン協会親睦ハワイアンサロンについて

交流事業の親睦委員会が他の委員会活動に先行し、各委員会活性化と京都デザイン協会親睦を目的に8月23日（木）に（財）京都市職員厚生会職員会館（銅駝美術工芸高校北側）にてハワイアンバンドの音楽を聴きながらのサロン開催企画が進行中。この中に柴田前理事長慰労のコーナーも企画されている。

新体制になって初めての大きなイベントになるので、嶋担当常務理事、大木担当理事を中心に企画、準備を進めて頂くことです承。

■第29回京都デザイン大賞コンペ'90 に関する報告

久谷担当常務理事より刷り上がったばかりのパンフレットをもとに説明があった。

今回から京都市、京都商工会議所、（財）平安建都1200年協会、（社）京都デザイン協会の四者共催になった。各団体から委員が出席し委員会で企画運営がなされる。事務局長には京都デザイン協会の今西理事長がなり、京都デザイン協会からの委員には昨年度からの継続で久谷担当常務理事、中村、鯛天担当理事が出席し企画されてきた。事務局は京都市に置かれ、京都デザイン協会の事務局は連絡先として機能する。予算は京都市607万円、京都商工会議所20万円、（財）平安建都1200年協会20万円、（社）京都デザイン協会30万円をそれぞれ負担し、総額677万円の大型になった。作品賞は大賞100万

円をはじめ多くの賞が予定されているが、スポンサー特別賞、協賛特別賞は初めての試みで企業に対するお願いの実務が控えている。

出品手数料2000円×出品点数が京都デザイン協会の収入になるので、何が何でも出品者掘り起こしに会員の総力を集中する必要がある。

予備審査の審査員は京都デザイン協会から選抜するが、若い会員にも参加して頂く予定。

審査員は現在交渉中の方も含まれるので、固まり次第もう一度新たなパンフレットを制作し配布する予定。(予定審査員:乾由明氏、喜多俊之氏、コシノヒロコ氏、高松伸氏、田中一光氏)

本来ならば全て確定してから制作するのが正しいが、出品をあてにできる専門の学校関係が夏休みに入る前に広報したいという気持ちが先走った。

パンフのデザインは鯛天理事に担当して頂いた。

作品搬入は11月6日(火)午前9時30分～午後4時、日図デザイン博物館。

入選作品の展覧会は12月4日(火)～9日(日)午前10時～午後5時 日図デザイン博物館にて。

一応の準備が出来たので広報に取り掛かれる部分からどんどんパンフを送っていく事と詰めに必要な部分は早急に詰めて頂くことで了承。

■その他

○京都府福祉部福祉課、新しい歴史に向かって走ろう府民運動推進協議会より「ボランティア・シンボルマーク」公募事業に対する後援依頼があった。

名義使用は了承。公募がスムーズに進むよう広報部分でも協力することで了解。

○京都府中小企業対策協議会委員の委嘱があった。

京都デザイン協会の理事長になることになっているので了解。

○京都市染織試験場 平成2年度常任幹事会及び総会の開催についての案内があった。



1990年7月25日号 No.3
社団法人 京都デザイン協会
KYOTO DESIGN ASSOCIATION

理事長が出席することで了解。

○デザインキョート「平成元年度京都デザインパイロット対策事業報告書」の送付と情報交換のお願いがあった。

締切が済んでしまっている所以对応できないということで了解。

○「第4回国際デザインキャンプ'90 松本」への参加要請があった。

本郷副理事長が主催団体の(財)国際デザイン交流協会、松本デザイン交流会議のスタッフとして出向していることもあり、可能な限り出席して頂くよう働き掛けることで了解。

○(有)タナカ印刷紙工社、賛助会員入会について。

会費も振り込んで頂いており、歓迎することと了解。

○ファッションネットワーク京都推進委員会設立に関する懇談会への出席要請があった。

6月22日 商工会議所役員室 11時～1時
理事長出席できないので、事務局の諸江さんに出席して頂き、内容を聞いてきて頂くことで了解。

○NDKサマーセミナー&パーティのご案内があった。

7月11日(水) 京都ホテル3F

セミナー 5時45分～

パーティ 7時～

講師:成瀬國晴(イラストレーター)

「東洲斎写楽とファッションドローイング」

7月4日参加申込み締切

◆宮川理事より広報活動の一貫として、以前やっていた京都の企業を対象にした『マーク100選』のような出版企画を考え、企業との交流を密にしていってはどうかという意見を頂いた。

◆山本理事より会員もどんどん増やす方向にある中で、現有会員のインフォメーションがなく個人的に連絡したくてもやれないことが

ある。まず会員の名前、専門分野、TEL、FAXをまとめたリストだけでも欲しい。

各種委員会の委員構成が確定した段階から担当部署で企画に入ることです承。

最後に、河合玲監事の「皆さんの活発な意見を聞かせていただいて、楽しみな会であるなと思いました。京阪神の色々な団体との共催事業等も今後やっていってはどうでしょう」とのご挨拶を頂き閉会した。

第2回理事会より

〔開催日時〕平成2年7月18日（水）

午後6時30分～9時

〔開催場所〕ABL会議室

＜出席理事＞今西慧 本郷大田子 尾崎要
田積司朗 藤田頼伯 嶋高宏 久谷政樹
奈良磐雄 大木ミヤ子 熊谷實 沢井敬子
園部正晴 樽家紀治 山本竜一 若林温子
＜委任理事＞宮川万樹夫 中村隆一 恩地惇
黒竹節人 鯛天成雄
＜欠席監事＞佐野武 河合玲

今西理事長の「あわただしい中、理事の皆さんにお集まり頂きありがとうございます。すでに郵便物で会費の請求、新入会員の審議、新入会員勧誘に関して等、色々なお願いをしておりますが、その確認も含めてよろしくご審議お願い致します。」との挨拶に続き、尾崎副理事長が議長となり議事進行した。

■財務状態及び業務運行に関して藤田担当常務理事より説明があった。

前年度の尾崎担当常務理事より引継ぎの説明を受け、自分なりに財務状態をチェックしたところ大変困窮していることを確認した。担当常務理事として姿勢を正し、毎月の収支をチェックしベターな方法で立て直しの努力したい。と前置きした上で、

●収入のベースは会費収入のみなので、事業



1990年7月25日号 No.4

社団法人 京都デザイン協会
KYOTO DESIGN ASSOCIATION

収入を増やし不足分を補填するよう努力して頂きたい。

●関連団体との助成金に関する収支バランスが悪いところがあるのでシビアーにチェックし実行したい。

●会費未収分の回収努力。理事長名で7月31日締切の請求を実施、それ以降未収分は個別に連絡を取り回収する。自動引き落とし制度導入に関する研究を継続する。

●各事業部で事業を起こす際、事前に計画書、見積書を財務委員会に提出し、了承を得てか実施に移っていただく。

●デザイン展の出品料が大きな収入源になるので今回は500点×2000円を目標としたい。

●受託事業からの納付金は10%以上をお願いする。

と、具体的な方策を説明し了解を得た。

若林総務担当理事から、事務的な書類等の整理についても書式を定め効率良く管理したい。来年に控えた25周年記念式典、事業に関する準備も進めると説明があり了承された。

■事業運営組織メンバーの調整と決定。

各事業、各委員会より希望の出ていたメンバーの突き合わせと調整を行い、全員がいずれかの委員会に属す形で決定された。（別紙）

■会員の入退会について。

6月7日の総会以降、会員増強活動の結果入会内諾を得た方に関する理事会としての可否審議が行われ、以下の方の入会が認められ8月1日より会員活動に参画していただく事が承認された。

＜正会員＞

氏名	分野	備考
千賀 伸一	ファッション	準会員より昇格
二村 春臣	写真	準会員より昇格
小川 幸雄	陶芸	（委員長）

藤田 正毅 服地手描染色 ミフジデザイン
大和 文昭 和装 懶和座
小山 和 ジュエリー 懶キャラ
佐々浪昌夫 テキスタイル
永田 義博 グラフィック 懶日商社
大野 好之 グラフィック グッドマン
本田 寿子 アーティスト
中井 哲幹 コピーライター
森 清史 プロデューサー
八木佐希也 建築 懶吉村建築事務所
<賛助会員>

懶田中印刷紙工社 代表 田中満

(第1回理事会で承認済み)

<特別賛助会員>

武田病院

敬称略

■「京デ協」事務局に関する件

今西理事長より報告。前年度まで柴田前理事長が議長を務めていた「京デ協」の団体長会議があり、今年度から京都設計監理協会の三輪泰司理事長が議長に就任した。柴田前理事長は会長職に就任。「京デ協」の事務局を京都デザイン協会が引き受けて貰えないかとの要請があり。引き受けるに際しての諸条件を上げて団体長会議に預けてある。7月24日の会合で条件が認められれば引き受ける事になる。理事会はこれを了承した。

■交流事業 親睦委員会企画の“親睦ハワイアンサロン” チケット販売について。

嶋担当常務理事より報告及び提案。8月23日(木) (財)京都市職員厚生会職員会館“かもがわ”(銅駝美術工芸高校北側)で開催する“親睦ハワイアンサロン”の内容が殆ど決まった。本格的ハワイアンバンド及び京都デザイン協会会員有志によるハワイアン同好会のジョイントコンサートを目玉に、楽しい企画が盛り沢山で、会員及び同伴者の方々と楽しく親睦が計れるように計画されている。運営経費に関しては独立採算でやらねばならないので、可能なかぎり多くの会員及び同伴者の参加が必要。参加費は現在のところ



1990年7月25日号 No.5

社団法人

京都デザイン協会
KYOTO DESIGN ASSOCIATION

一人6000円を予定。8月上旬、理事長名で会員全員に案内の書類が郵送される。赤字が出ると困るので、理事は2枚(12000円)を確実に負担していただきたい。さらに担当の委員会のメンバーに出来るだけの参加を呼び掛けて頂きたい。

理事会は会員同志の親睦がまず第一で、多くの会員が参加されるよう呼び掛けの努力をすることと、チケット2枚の負担を了承した。

■会員展、賛助会員との交流事業について。

嶋担当常務理事より報告。前年度理事会で予告していた、9月11、12、13日の3日間、ABLホールを使つての会員展、賛助会員との交流事業の企画を早急に立てなければならぬ時期がきた。具体的には何も決まっていないが、会員展は会員全員が簡単に表現できるテーマにもとづく作品展。賛助会員との交流事業は賛助会員に興味を持って頂ける内容のセミナー開催。スピーカーは会員全員か選抜でリレートークをしてはといったダミープランがある。8月上旬には会員へ案内をしなければならぬので、交流事業部局以外からの人的協力も得て早急に企画立案したい。

理事会としては、今まで賛助会員の方々になにもメリットのある事をさせて頂けなかった穴埋めの第一歩としても、内容のあることを実施する必要があるので交流事業部局を中心に詰めを急いで頂くことで了承した。

■京都デザイン協会25周年記念準備について。

尾崎副理事長より提案。来年に控えた京都デザイン協会25周年記念事業に関する準備は総務、事務局が中心になり、秋以降に企画をスタートすることにしたい。

理事会はこれを了承した。

■京都商工会議所商工新興部への提案事業に関して。



1990年7月25日号 No.6

社団法人

京都デザイン協会
KYOTO DESIGN ASSOCIATION

今西理事長より提案。6月22日 商工会議所で開催された「ファッションネットワーク京都推進委員会設立に関する懇談会」の場で、「ファッションネットワーク京都推進委員会」を設立することが決った。京都デザイン協会としては、そこで何をすればいいかの企画立案をし提案することで事業化の可能性が考えられるので、10月末までに開発事業部局で立案していただくようお願いしたい。

理事会は田積担当常務理事の開発事業で考えて頂くことで了承した。

■京都デザイン大賞コンペ'90 について

久谷担当常務理事、今西理事長（運営委員会委員長）より報告。特別スポンサー賞（20万円）のスポンサー探しが進行していたが、現在の所7社の内諾が取れている。審査員にお願いしていた高松伸氏、コシノヒロコ氏の都合がつかず、高松氏はこのまま残し、コシノ氏の代わりをファッション界から至急探す必要がある。久谷担当常務理事の方で心当たりが無い場合は、今西理事長が人選、交渉する。事前審査に当たる会員審査員リストを8月中旬に作成する必要がある。

理事会は企画事業 コンペ委員会を核とした出品者増に対する可能な限りの活動をするこの再確認を含めて了承した。

■事務局夏季休暇について

8月1・2・3

13・14・15・16・17

とすることです承した。

■その他

○事務局の諸江さんに藤田財務担当常務理事より賞与が手渡された。

○交流事業 受託委員会が成果を上げてきた「長浜ちりめん工業組合よりの地場産業活性化計画」受託事業継続の依頼が再び先方よりあり、嶋担当常務理事が契約書の試案を作成し先方に呈示した。

○福祉機器デザインコンペ実行委員会より福祉機器デザインコンペ'90 KYOTOの実施要項（案）が届き、打ち合わせの会議に出席してほしいとの依頼があり、今西理事長が出席することになった。

○日図デザイン博物館主催「第13回京都こども美術展」の作品審査（8/3）、表彰式（8/12）への出席依頼があり、今西理事長が出席することになった。

○本郷副理事長より（財）国際デザイン交流協会、松本デザイン交流会議が主催する『第4回国際デザインキャンプ'90 松本』への参加勧誘アピールがあった。

○理事会に欠席する理事は、理事会の決定に従う事が確認された。

○京都デザイン協会のアイデンティティに関して色々意見が交わされた。

最後に本郷副理事長が「公益法人である京都デザイン協会が、理事を中心に、会員皆が力を合わせその目的を果たせるよう頑張らましよう・・・」と締めくくった。

暑中お見舞い申し上げます。

広報事業部では京都デザイン協会の活動を広く内外に知らせ、活性化に役立ちたいと考えています。会員諸氏のレーダーに感知した諸々の情報をお寄せください。

* 京都デザイン協会ニュースのロゴタイプを目下制作中です。

京都デザイン協会NEWS

京都デザイン協会
広報誌

■1990年9月 ■発行 社京都デザイン協会広報誌委員会

■事務局 京都市東山区祇園町北側ABL3階〒605 TEL.075(541)0239 FAX.075(525)0294

KYOTO DESIGN ASSOCIATION PR.PAPER



ミヤコ&オジヤンズのメンバー

HAWAIIAN DREAM at river • side

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★ 大盛況の内に幕 ★★★★★★★★★★★★★★★★★★

去る8月23日(木)午後7時より左京区栗田口の京都市国際交流会館イベントホールにて、京都デザイン協会・サロン委員会主催のハワイアの集いが、会員とのお知り合い総勢200名を越える参加により盛大に催された。

京都デザイン協会の有志でなるハワイアンバンド同好会『ミヤコ&オジヤンズ』が演奏する会場ホールへ、入口で渡された食前酒を片手に三三五五入場、嶋高宏交流事業担当常務理事の総司会です。まずバンドメンバー紹介、今西慧理事長の挨拶に続き、京都デザイン協会が事務所を置いているABLビルオーナー(株)浅井商店の浅井部長に乾杯のご発声をいただきハワイアン・ドリームの宴は始まった。

このサロンの目玉は何と言っても、1か月程前結成されたハワイアンバンド同好会『ミヤコ&オジヤンズ』の華麗な演奏に尽きる。バンドメンバーは紅一点の大木ミヤ子を中心に、恩地惇、岡順一、園部正晴、藤田頼伯、豊嶋三千春、

林秀樹、松原出のメンメン。結成1か月余りで初舞台を踏むのは無謀とも言われていたが、セミプロの恩地、岡両師匠の特訓を受けたメンバーの演奏はそれなりにハワイアンムードをかもし出し参加者を魅了したように思われた。楽屋話として、素人バンドではとても1時間半のステージは持たないと判断した恩地、岡師匠は自らが率いるKUKUI NUTS BAND とフラダンスの師匠三崎良子さんを友情出演させることでみごとこの難題をクリアしたことも付け加えたい。

宴の半ば、柴田献一前理事長を舞台上にお呼びし、現理事有志一同より感謝の気持ちを込めた記念品の贈呈式もあり、前理事長のご苦勞を参加者全員でねぎらった。

ハワイアンダンスの即興指導を受けた参加者有志のハワイアンダンスショーや(株)ワコールからのTシャツプレゼントの抽選もあり盛り上がったムードのまま、あっと言う間のハワイアン・ドリームの宴の幕は下ろされた。



柴田前理事長に記念品を贈る今西理事長と大木理事



贈呈式をあたたく見守る参加者の皆さん



フラダンスの特訓を受ける有志の皆さん。見事に踊って見せた。



司会を務めた嶋常務理事

100人のクリエイターによる デザインシンポジウム イン・京都祇園 「タテ、ヨコ、ナナメ」

(社)京都デザイン協会が来る9月10・11・12日の3日間、祇園ABLビル3階ホールにて企業人を対象に交流セミナーを開催する。

10日(月)は『消費トレンド』をメインテーマに「いつまで続くかオジンギャル」「マーケティングの必要性」の講演、「アイデア発想法」に関するリレートーク、番外編「マイ・プレゼンテーション」。11日(火)は『なんでもかんでもファッション情報』をメインテーマに「ザ・和 VS ザ・洋」「ファッションセンスって何?」の講演、「ファッションセンスはこうしてとりだす」に関するリレートーク、番外編「マイ・プレゼンテーション」。12日(水)は『企業デザイン情報』をメインテーマに「オフィス空間のデザイン化」「デザインは戦略」の講演、「“京都”は企業にとってプラスかマイ

ナスか」に関するリレートーク、番外編は懇親会と盛り沢山な内容が予定されている。

多くのクリエイターから成る(社)京都デザイン協会がその総力を発揮して、京都在住の企業と交流を計ろうと企画したのは今回が初めてで、その成否が今後の活動にも大きく影響すると考えられ楽しみである。

セミナー参加お申込み、お問合わせは事務局まで。

第29回 京都デザイン大賞コンペ'90 の作品 全国公募

京都市、京都商工会議所、(財)平安建都1200年協会、(社)京都デザイン協会が共催する第29回 京都デザイン大賞コンペ'90(旧称 京都デザインコンペ)の作品公募が始まっている。テーマは“現代のデコレーション”で、ビジュアル、プロダクト、テキスタイル、クラフト、環境の各デザイン分野の作品を募集してい

る。大賞1点(副賞100万円)、準大賞1点(副賞50万円)、金賞3点(副賞各20万円)、銀賞7点(副賞各10万円)、銅賞(副賞各3万円)が授与される。今回から銀賞は特別スポンサーが出すことになり、特別スポンサーはオムロン(株)、(株)川島織物、京セラ(株)、サントリ(株)、寶酒造(株)、村田機械(株)、(株)ワコールの7社に引き受けていただいた。総合審査員は乾 由明(美術評論家)、喜多俊之(インダストリアルデザイナー)、田中一光(グラフィックデザイナー)、皆川魔鬼子(ファッション&テキスタイルデザイナー)。作品搬入は11月6日(火)午前9時30分~午後4時、日図デザイン博物館。詳細問い合わせは(社)京都デザイン協会まで。

福祉機器デザインコンペ'90 KYOTO展 作品公募

福祉機器デザインコンペ KYOTO 実行委員会[京都府、市、(社)京都デザイン協会ほか7団体で構成]が主催する「福祉機器デザインコンペ'90 KYOTO」展は今回で3回目を迎える。福祉機器のデザイン性を高めることを奨励し、障害者の生活と文化をより潤いのある充実したものにするを目的としている。今回のテーマは『デザインと機能の統一』。応募希望者は応募申込書を提出する必要がある。申込み受付締切は9月30日。

応募申込書は事務局までご請求下さい。

TEL 075-801-7460

〒602 京都市上京区猪熊通り丸太町下る

中之町519 京都社会福祉会館内

京都市社会福祉協議会気付

福祉機器デザインコンペ'90

KYOTO展実行委員会 宛

審査員として、(社)京都デザイン協会より今西慧理事長、大木ミヤ子、沢井敬子理事が参加する。

ファッション京都ネットワークの
統一ロゴマーク最優秀作に
木村紀久雄(会員)

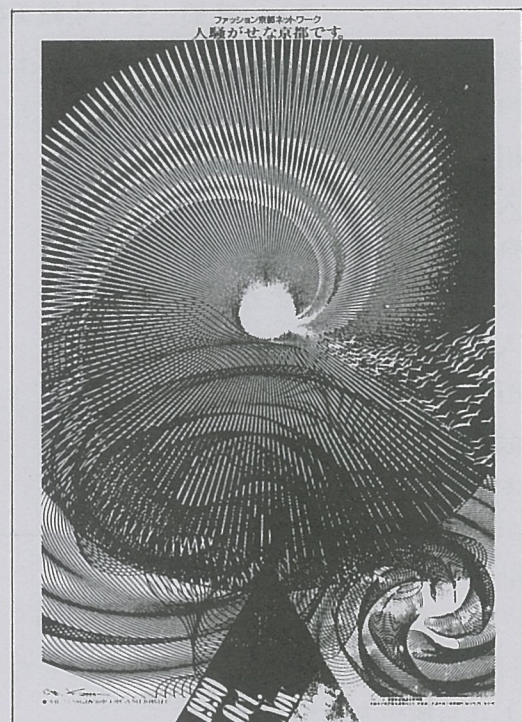
松尾充浩氏共作の作品が選ばれる



**FASHION
KYOTO
NETWORK**

京都における多彩なファッションイベントを包括するファッション京都ネットワーク事業を通じて、業界振興に資することを目的として結成された、ファッション京都推進協議会[京都府・市、京都商工会議所、(社)京都デザイン協会、京都織物卸商業組合、京都プリント振興協会など17団体で構成]の委員会(吉田忠嗣委員長)が7月中旬から公募していたもので、応募作品150点の中から選ばれた。

このロゴマークを使ったB全版ポスターは偶然にも会員の熊谷、田積、今西三氏合作で作られることになり、9月中旬には一般公開の予定。また、10月から12月まで予定している同推進協議会参加事業の印刷物などに共通で使われる。



京都デザイン関連団体協議会 (京デ協)の新体制固まる

議長には京都建築設計監理協会 会長 三輪泰司氏、新たに設けられた会長職には同協議会前議長、(社)京都デザイン協会 前理事長

柴田献一氏がアドバイザーとして、さらに副議長職には(社)京都デザイン協会 理事長 今西慧氏が事務局として就任した。なお事務局は(社)京都デザイン協会内に置かれる。

● 会員移動状況 ●

順不同 敬称略 4月1日から8月23日まで
＜準会員から正会員へ＞2名

・千賀伸一(ファッション)・二村春臣(写真)

＜新入正会員＞25名

・森木保彦(グラフィック)・清水忠義(建築)

・杉本 樹(建築)・高井紀子(建築)・藤田

正毅(服地手描染色)・小川幸雄(陶芸)

・佐々浪昌夫(テキスタイル)・八木佐希也

(建築)・森 清史(プロデュース)・小山

和(ジュエリー)・本田寿子(アート)

・大和文昭(和装)・永田義博(グラフィック)

・大野好之(グラフィック)・奥藤洋子(ファ

ッション)・高濱 豊(グラフィック)

・廣田正行(コピーライト)・作本健次(イン

ダストリアル)・鳥山生夫(写真)・古川加

津夫(グラフィック)・高橋 玄(染織美術

工芸)・上村多恵子(プロデュース)・上大

進博(着物)・中尾 博(グラフィック)

・西田和雄(AD・店舗企画)

＜新入賛助会員＞4社

・(株)京都ベストビジネス・山音株式会社

・(株)なり田・(有)タナカ印刷紙工社

＜新入特別賛助会員＞1社

・武田病院

＜退会正会員＞1名

・岡本ヒサシ(テキスタイル)

■ 訃報

(社)京都デザイン協会 特別会員の
磯村春先生が去る8月11日永眠されました
心よりお悔やみ申し上げます。

大丸ドレスメーカー専門学校葬

9月9日(日)午後1時30分～3時

下京区堺町松原下る にて

(社)京都デザイン協会からは本郷副理事
長が代表で参列致します。

■ 会員からのメッセージ ■

◇特別賛助会員 京都銀行 藤原正人氏より

(社)京都デザイン協会の会員のみなさまの
中で、相続・贈与・不動産などの資産計画、
事業承継や経営の諸計画を中心とした相談に
乗ってもらえる機関をお探しの方はいらっし
やいませんか。京都銀行ファイナンシャル・
プランニングセンターはその道のエキスパー
トです。お気軽にご相談ください。

＜京都銀行 ファイナンシャル・プランニ
ングセンター お客様ご相談センター＞

京都市下京区烏丸通松原上る 京都銀行本店
別館1階 ☎361-2286

◇茨木善弘氏より

9月18日(火)～21日(金)

下京区堀川通七条上る 京つけもの西利本社
2Fにて、『仲秋の名月に花を生ける「長月
のころ」茨木善弘のフラワーパフォーマンス
と小作品展』と題したイベントを行います。
18日は午後6時よりパーティ&パフォーマン
ス(参加料2千円)。19～21日は作品展。
どうぞお気軽におこしください。

協会活動から人間情報まで 公報中心の編集をめざして

今度、広報事業部を発足させ、奈良常務理事
をヘッドに委員会を組織していただきました。
協会諸事業や各委員会活動、さらには会員各位
の活躍ぶりを、対外的にも積極的にアピールし
ていただき、会員間の情報交流のほかにも、関
連各方面との交流を広く深く進行させたいと願
ったからです。

来年は協会創設25年、社団法人化10年の記念
の年でもあり、名実ともにさらなる飛躍を期し、
会員増強運動を展開するためにも、正式名称
「社団法人 京都デザイン協会ニュース」とし
て取り組んで行こうというわけです。

各位のご理解とご協力をお願いいたします。

1990年9月 理事長 今西 慧

第1回理事会より

〔開催日時〕平成2年6月21日（木）

午後7時～9時 ABL会議室

＜出席理事＞今西慧 本郷大田子 尾崎要
田積司朗 藤田頼伯 嶋高宏 久谷政樹
奈良磐雄 恩地惇 大木ミヤ子 熊谷實
沢井敬子 鯛天成雄 樽家紀治 山本竜一
宮川万樹夫 若林温子

＜出席監事＞河合玲

本郷副理事長が議長となり議事を進行。

■第10回通常総会の報告

■今西慧新理事長の所信表明

■各事業ごとの各委員会計画の発表および会員各位のネットワーク化について

事業担当常務理事及び委員会担当理事の配置が決まったので、それぞれの委員会より会員各位にもれなく参加していただく。

■財務上の問題と新会員の増強および会員資格の再検討（拡大化）について

会員資格の再検討（拡大化）については、10年の経験を同等の資質に拡大解釈、デザイン業務の拡大化に対応すべく、広くクリエイティブ関係の人材を個人の資格で、会員推薦を尊重する方向で内諾を得た。

■各委員会活性化と京都デザイン協会親睦ハワイアンサロンについて

■第29回京都デザイン大賞コンペ'90に関する報告

■その他

○京都府福祉部福祉課、新しい歴史に向かって走ろう府民運動推進協議会より「ボランティア・シンボルマーク」公募事業に対する後援依頼があった。

○京都府中小企業対策協議会委員の委嘱があった。

○京都市染織試験場 平成2年度常任幹事会及び総会へ理事長が出席することで了解。

○デザインキョート「平成元年度京都デザインパイロット対策事業報告書」の送付と情報交換の願いがあった。

○「第4回国際デザインキャンプ'90 松本」への参加要請があった。

○ファッションネットワーク京都推進委員会設立に関する懇談会への出席要請があった。

○NDKサマーセミナー&パーティのご案内があった。

◆宮川理事より広報活動の一貫として、以前やっていた京都の企業を対象にした『マーク100選』のような出版企画を考え、企業との交流を密にしていってはどうかという意見を頂いた。

◆山本理事より会員もどんどん増やす方向にある中で、現有会員のインフォメーションがなく個人的に連絡したくてもやれないことがある。まず会員の名前、専門分野、TEL、FAXをまとめたリストだけでも欲しい。

各種委員会の委員構成が確定した段階から担当部署で企画に入ることです。

最後に、河合玲監事の「皆さんの活発な意見を聞かせていただいて、楽しみな会であるなと思いました。京阪神の色々な団体との共催事業等も今後やっていってはどうでしょう」とのご挨拶を頂き閉会した。

第2回理事会より

〔開催日時〕平成2年7月18日（水）

午後6時30分～9時 ABL会議室

＜出席理事＞今西慧 本郷大田子 尾崎要
田積司朗 藤田頼伯 嶋高宏 久谷政樹
奈良磐雄 大木ミヤ子 熊谷實 沢井敬子
園部正晴 樽家紀治 山本竜一 若林温子
尾崎副理事長が議長となり議事を進行した。

■財務状態及び業務運行に関して藤田担当常務理事より説明

担当常務理事として姿勢を正し、毎月の収支をチェックしベターな方法で立て直しに努力したい。

若林総務担当理事から、事務的な書類等の整理についても書式を定め効率良く管理したい。来年に控えた25周年記念式典、事業に関する準備を進めると説明があり了承された。

■事業運営組織メンバーの調整と決定

■会員の入退会について

■「京デ協」事務局に関する件

■交流事業 親睦委員会企画の“親睦ハワイアンサロン”チケット販売について

■会員展、賛助会員との交流事業について

嶋担当常務理事より報告

■京都デザイン協会25周年記念準備について

尾崎副理事長より提案。来年に控えた京都デザイン協会25周年記念事業に関する準備は総務、事務局が中心になり、秋以降に企画をスタートすることにしたい。理事会はこれを了承。

■京都商工会議所商工新興部への提案事業に関して。

今西理事長より提案。6月22日 商工会議所で開催された「ファッションネットワーク京都推進委員会設立に関する懇談会」の場で、で「ファッションネットワーク京都推進委員会」を設立することが決った。京都デザイン協会としては、そこで何をすればいいかの企画立案をし提案することで事業化の可能性が考えられるので、10月末までに開発事業部局で立案していただくようお願いしたい。

理事会は田積担当常務理事の開発事業で考えて頂くことで了承した。

■京都デザイン大賞コンペ'90 について

久谷担当常務理事、今西理事長（運営委員会委員長）より報告。

理事会は企画事業 コンペ委員会を核とした出品者増に対する可能な限りの活動をするものの再確認を含めて了承した。

■事務局夏季休暇について

■その他

○交流事業 受託委員会が成果を上げてきた

「長浜ちりめん工業組合よりの地場産業活性化計画」受託事業継続の依頼が再び先方よりあり、嶋担当常務理事が契約書の試案を作成し先方に呈示した。

○福祉機器デザインコンペ実行委員会より福祉機器デザインコンペ'90 KYOTOの実施要項（案）が届き、打ち合わせの会議に出席してほしいとの依頼があり、今西理事長が出席することになった。

○日図デザイン博物館主催「第13回京都こども美術展」の作品審査（8/3）、表彰式（8/12）への出席依頼があり、今西理事長が出席することになった。

○本郷副理事長より（財）国際デザイン交流協

会、松本デザイン交流会議が主催する『第4回国際デザインキャンプ'90 松本』への参加勧誘アピールがあった。

第3回理事会より

〔開催日時〕平成2年8月23日（木）

午後5時～6時30分

京都国際交流会館1F会議室

＜出席理事＞今西慧 本郷大田子 尾崎要
藤田頼伯 嶋高宏 奈良磐雄 大木ミヤ子
熊谷實 沢井敬子 園部正晴 山本竜一
若林温子 恩地惇 鯛天成雄

尾崎副理事長が議長となり議事進行した。

■交流事業サロン委員会 嶋担当常務理事より説明

■会員展 賛助会員との交流事業について嶋担当常務理事より説明

『タテ、ヨコ、ナナメ』と題して、9月10、11、12の3日間ABLホールにて開催。企業宛の案内DMも完成（別紙）。（社）京都デザイン協会会員全員が参加して頂く内容。

■京都デザイン大賞コンペ'90 について

■会員増強運動と会費徴収状況について

■財務報告

■広報事業について

■福祉機器デザインコンペ'90 KYOTO展について

■会員の入退会について

■その他

○ファッション京都ネットワーク90 第2回委員会、参加事業募集説明会（8/2）に今西理事長出席。

○第4回日図創作図案準会員展の審査（8/3）に今西理事長出席。

○第13回京都こども美術展表彰式（8/12）に今西理事長出席。

○福祉機器デザインコンペ'90 KYOTO展実行委員会（8/17）に今西理事長出席。

○京都府中小企業対策協議会（9/13）に今西理事長出席予定。

（社）京都デザイン協会NEWS委員会では
会員の皆様からのホットな情報をお待ちしています

京都デザイン協会NEWS

京都デザイン協会
広報誌

■1990年11月■発行 (社)京都デザイン協会広報誌委員会

■事務局 京都市東山区祇園町北側ABL3階〒605 TEL.075(541)0239 FAX.075(525)0294

KYOTO DESIGN ASSOCIATION PR.PAPER



100人のクリエイターによる

デザインシンポジウム イン・京都祇園

「タテ、ヨコ、ナナメ」

さる9月10・11・12日の3日間、祇園ABLビル3階ホールにて(社)京都デザイン協会が企画したデザインシンポジウム『タテ・ヨコ・ナナメ』が開かれた。デザイナー集団の特色を最大限に生かしたこのシンポジウムには、多彩な消費動向などについて多角的な意見が聞けるとあって、地元企業はもとより学生、一般と多くの人々の参加があり、有意義な3日間を無事終える事ができた。詳しい内容をここで紹介できないが、参加した方からコメントを頂いたのそれを紹介し、今後続ける糧としたい。

◆担当常務理事 嶋高宏

『「タテ・ヨコ・ナナメ」をプロデュースして
思うこと』

三日間連続シンポジウムを企画した時から、企業はこれに参加するだろうか、テーマは適切なものか、インフォメーションがうまくいったかどうかと不安材料が山積み、申し込みの葉書や問い合わせの電話が増えてくることで胸をなでおろしながら当日をむかえる。なんとか定員をオーバーした会場にほっとするなんて、まさにドサ回りの興行主の心境。正副理事長をはじめ、理事、会員の当日出席者が受付を手伝い、会場設備を点検して出演者に早変わり、などは自主公演の劇団員と一緒に。これこそ京都デザイン協会第一回旗揚げ公演といったところか。

三日間ご出席の企業の皆様には不手際も含めて、心より陳謝、お礼申し上げます。またシ



ンポジウム実行スタッフの皆様には突然の呼出しにも快く応じていただき、夏のハワイアンと重なっての超ハードスケジュールにもかかわらず、お盆の間も含めて長期間、献身的な協力をいただき、心より感謝いたしております。本当にご苦勞様でした。

今回の企画は京都、朝日、サンケイ、日経、各新聞社に記事として取り上げられ、パブリシティ効果充分といったところです。

会場では「盛りたくさんでわからんようになりました」「ひとつひとつの内容をもっとつっこんでほしい」の声も。京都デザイン協会のメンバー紹介もかねての教養講座ダイジェスト版を意図していたのですから、意図通りの反応に逆に満足。想像より成果の上がらなかった3分間駅伝トーク、予想外に内容度の高かったマイプレゼンテーションが、もうひと工夫で面白いものになる可能性をはらみ、ますますこういったイベントにはパフォーマンス的な要素がいることを感じさせてくれました。

残念だったことは、何の連絡もなく欠席という社会ルールを欠く会員氏のおかげで、当日の進行スケジュールは大混乱。このことはイベントが成功したからといって帳消しになるものではなく、いま一度一人一人の会員が問い直して欲しい問題です。いずれにせよこういったイベント催事に、あらゆる問題提起を投げかけてくれた“熱くて長い三日間”といったところでしょうか。

会員の皆様、本当にありがとうございました。京都デザイン協会は知恵の宝庫です。

◆特別賛助会員 京都中央信用金庫
情報開発部 営業情報課 玉垣さん

デザイン利用の効果は、企業イメージがその企業の特徴をうまくデザイン化、戦略化され、利用者ニーズに一致したところにある。

しかし同時に、京都感覚との融合も必要であり、文化・芸術および生活にマッチした持味をかもしたデザインが一層の味わいをもたらす。

時代の変化の流れが徐々に、京都の町並にも、食文化にも影響しはじめてはいるが、京都の「あるがまま」のイメージをうまくコーディネートすることも新しいイメージではなからうか。

◆特別賛助会員 オムロン コミュニケーションクリエイティブ株式会社 砂原睦雄さん

申込み時点の「3日間、昼夜、全コース参加」の意気込みもどこへやら、1週間ぐらいの間に、初日と2日目に仕事が入ってしまった。どうにか3日目に参加できたのが、せめてもの楽しみというものであろうか。

駆け付けてみれば、超多忙の先生方が、入れ替わり立ち代わりの熱弁。いろいろな視点からのお話を、楽しく聴かせていただきました。

それにしても、聴衆が予想外に少ないのが気になった。これは“作戦”だったのか、“京都のデザイン感度”なのか、それとも単なる“PR不足”だったのか。タテ・ヨコ・ナナメからじっくりと考えているところです。

◆準会員から正会員になった 千賀伸一さん

正会員になり初めての事業に参加させて頂き、各ジャンルで活躍されている会員の皆様の実践的なお話や、経験談などを聞かせて頂き、有意義な時間を過ごす事ができました。又、駅伝トークでは突然話す機会（時間つなぎ）をあたえて頂きビックリした事。マイ・プレゼンテーシ



ョンでは、個性豊かなメンバーの方々からの裏話し、などをまじえた楽しい話しは、身近に皆様を知る事ができ時間を短く感じさせてくれました。

私自身も「近江商人の家訓と掟」など町おこしの話しをさせて頂きました。家訓の中で一番好きな言葉を一つ書かせて頂きます「三方よし。利は余次」売手よし、買手よし、世間よし、利は感謝、喜びからとのことです。頭髮の減少によって好きな言葉が変わってくるのかなぁと思っている私です。

◆交流事業委員の一人として頑張った

高井紀子さん

“100人のクリエイターが一堂に集まる。”これがデザインシンポジウム“タテ・ヨコ・ナナメ”のキャッチフレーズでした。実際に、3日間の討論を通じて、大勢の方々の今の時代を反映した貴重なご意見を数多く伺うことができたのではないのでしょうか。京都デザイン協会は、様々なジャンルの方が集まっていっぱいいます。一つのテーマについて、いろいろな角度から見ることができます。いつもは一つの業界の中で、同じ角度から物事を見てしまっている日頃とは違った魅力が、このシンポジウムにはあったように思われます。

当初は、“会員の作品展を”というテーマでスタートしたこの企画でしたが、ホールの使用期間や時代性、また、京都デザイン協会の社会に対するアピール等を考え合わせた結果、最終的にシンポジウムという形となりました。準備期間が短く、会員の皆様へのご案内が直前になってしまったなど、反省点も数多くありますが、これを機に、今後も社会に対してアピール・提

案をしていけるイベントを続けていけたらと思います。

◆入会間もない杉本樹さん

協会の会員に加えてもらって、まだ浅いため主催者側の一員と言うよりも観客として静観していましたが、日頃仕事に追われ、同業者との交流しかあまりない私にとっては、有意義な時間を過ごすことができました。

「タテ・ヨコ・ナナメ」の内容についての感想としては、面白い企画で興味をひく内容でしたが、「タテ・ヨコ・ナナメ」という切り口のとおり、あまり多彩な内容に戸惑う感がありました。ただ、一般企業の参加者や学生等との討論（discussion）も聞ければ又面白い交流になったと思います。

何より各実行委員、講師の皆様ご苦勞様でした。



関連団体ニュース

●「NDK新人デザインコンテスト」の

入賞作品決定

(社)NDK<日本デザイン文化協会>京都支部主催の「NDK新人デザインコンテスト」の入賞作品が決定した。今回のテーマは『ゼロ』で、原点に立って思いのままにデザインイメージをふくらませてくださいと呼び掛けた。

入賞者

☆NDK大賞 大洞園子(大丸ドレスメーカー専門学校)

☆京都府知事賞 坂元由美(京都近鉄デザインカレッジ)

☆京都市長賞 南 久美子(京都近鉄デザインカレッジ)

☆京都商工会議所会頭賞 鶴岡和恵(大丸ドレスメーカー専門学校)

☆平安建都1200年記念協会賞 重本麻見(光華衣服専門学校)

☆京都デザイン協会賞 倉田季見子((大丸ドレスメーカー専門学校)

など26賞が26人に与えられた。

なお、これらの入賞作品は10月8日(月)京都会館第一ホールで開催された第32回NDKモードショーに出品され(京都デザイン協会会員8名もデザイナー作品として出品)多くの人々からその可能性に対し期待が集まった。

10月7日・8日には京都会館別館にてNDKファッションクラフト展が開催された。

●(財)大阪デザインセンター創立30周年記念式典が、去る10月24日午後、大阪コクサイホテルにて開催された。(今西理事長出席)

なお、同式典において下記の諸氏が同センター会長感謝状(佐治敬三氏)を受けられた。

敬称略 特別会員 藤川延子

正会員 柴田献一

学術会員 高井一郎、高田宗治

事業部別事業計画概要

●開発事業 (担当常務理事 田積)

推進事業委員会(担当理事 山本)

特別事業委員会(担当理事 宮川)

'90 年度事業計画案

今年新たにできた開発事業部は、その名の通り事業計画を企画および推進していくセクションであり、あくまでも(社)京都デザイン協会の認知度を高めながら、会員同志のコミュニケーションを深め、尚かつ社団法人としての活性化をはかるためのものです。しかも、建都1200年に向けてのデザイナープロジェクトと捉え、文化面および社会福祉面といった幅広い視野での事業展開が期待されると考えました。そのため、事業計画の提出が遅れましたことをここに深くお詫び申し上げます。私たち開発事業部は、時間をかけて慎重に検討することが、社団法人としての成果を生む企画提案につながると考え、先日10月25日、下記の事項が決定しましたのでここにご報告いたします。

◎KYOTOベストマーク集

地元京都の各企業のコーポレートマークに限らず、シンボルマークやブランドマークなどを集大成して、“ベストマーク百選”を発刊。これを機会に毎年継続して発刊できる事業とする。

◎会員作品展(チャリティ)

(社)京都デザイン協会の地名度およびイメージアップをはかるとともに、文化活動と社会福祉への貢献を重視して、チャリティによる“会員作品展”を実施する。

◎マス媒体による紙上展(ミニギャラリー)

(社)京都デザイン協会の地名度アップおよび会員の紹介をかねて、新聞広告(見開き全30段)による紙上展の実施。

◎ミニパフォーマンス展

京都府および京都市の公共施設を会場に借り、会員による“ミニパフォーマンス展”を実施する。

◎コミュニケーションツールの作成

会員同志、対外面のコミュニケーションを円滑に計るための、充実した内容の会員名簿を作成する。(前期継続事業)

●企画事業(担当常務理事 久谷)

京都デザインコンペ委員会

(担当理事 鯛天 中村)

本年度の事業は、前年度よりの継続事業として事業展開を行っており、間もなくそのピーク



久谷政樹氏デザインによるコンペポスター

を迎えようとしています。本年度より実施形態が大きく変わり、今までに無い大規模事業になっています。

本年度の応募作品は11月6日、日図デザイン博物館に搬入され、11月7日の審査には、第1次部門別審査を協会理事20名が、第2次総合審査は、乾由明、喜多俊之、田中一光、皆川魔子の各氏が当たります。入選作品は12月4日（火）～9日（日）日図デザイン博物館にて展示されますので、会員諸氏はもちろんのこと多くの方の来場が期待されます。

これが終了すれば直ちに次年度の企画立案をスタートするといったルーチン事業ですので、多くの方々の様々な協力無しには実現できません。いろいろな局面での会員の皆様のご協力よろしくお願い致します。

●企画事業 都市美観研究会委員会

'90 年度研究計画（担当理事 恩地）

・テーマ「木屋町通り 三条～四条間 東側町並み整備提案」

・内容 現在京都市において木屋町通り改修計画が進行中であるが、対象が道路に限られ、道路景観上重要な東側町

並みに言及できない。そこで社団法人の立場から住民への誘導策定等を提案し、大いなる影響を与え、実施に反映させることを目的とする。

- ・方法 1. 木屋町通り改修計画内容の把握。
- 2. 木屋町通り三条～四条間のビデオ撮り等フィールドワーク。
- 3. 看板を主とする秩序づくりのアイデア検討。
- 4. 基本方針案の決定。
- 5. 成果品としてのCGシミュレーションビデオ、及びレポートの作成。

・期間 平成2年10月～平成3年3月末

* 第1回会合 10月19日（金）午後6時～9時
京都デザイン協会 Cルーム

●広報事業（担当常務理事 奈良）

広報委員会（担当理事 沢井）

ニュース委員会（担当理事 樽家 園部）

広報委員会とニュース委員会で組織されているこの部の仕事は、京都デザイン協会の活動を広く世の中に知らしめることです。

広報事業として現在行っていることは、理事会・事業部局の活動、会員個人・各社の活動、関連団体の活動などを集約し、隔月発行の「京都デザイン協会ニュース」により知らせています。多くの会員諸氏を委員会メンバーとして登録させて頂いていますが、全員に役割を分担して実行していくこともまた難しく、一部の委員で事を進めています。広報活動を活発にすること（広報媒体を増やすことを含む）は物理的に大変になるので、当面は現在発行している「京都デザイン協会ニュース」の内容充実主力を置く考えです。委員の方々ははじめ会員諸氏による執筆、情報提供の協力をお願い致します。

●交流事業（担当常務理事 嶋）

受託委員会（担当理事 黒竹）

親睦委員会（担当理事 大木）

会員同志、他団体その他可能な限りの人々との幅広い交流を目的とした事業の企画、運営および、その交流から発生する具体的な受託事業も消化してしまおうという、パワー溢れる部局です。新年度がスタートしてすぐにとりかかっ

た企画は、8月22日に開催した『ハワイアン
ドリーム アット リバーサイド』。息つく間
もなく取り組んだのが『デザイン シンポジウ
ム「タテ・ヨコ・ナナメ」』。10月31日開催の
『シネマサロン』と、ここまでは皆さんのご協
力で何とかクリアしてきました。残すは来年
4月に予定している『ABLビルホールを使っ
てのイベント（内容は未定）』となり、これか
ら企画立案作業に入っていきます。今までの事
業以上の盛り上がりを持ちたく、皆様のご協力
を重ねてお願いいたします。

平成2年度京都デザインパイロット対策事業 デザインセミナー

京都府中小企業総合センターが主催するデザ
インセミナーが下記内容で開催される。受講無
料。定員 100名。申込み・問い合わせは同センタ
ー技術部デザイン課 TEL 075-315-8636 京都
市下京区中堂寺町17 京都リサーチパーク内

★11月1日（木）『コンピュータとデザイン』

講師 大村皓一氏

大阪学院大教授

AST 関西経理コンピュータ研究所所長

★11月9日（金）『20世紀末消費生活』

講師 油谷 遵氏

㈱ガウス生活心理研究所代表取締役社長

★11月15日（木）『広くみること、つくること』

講師 栗津 潔氏

京都芸術短期大学教授

グラフィックデザイナー

★11月19日（月）『映像のデザイン』

講師 松本俊夫氏

京都芸術短期大学教授

★11月26日（月）『デザインの現場から』

講師 榎本了壹氏

クリエイティブディレクター

プロデューサー

★11月27日（火）『若林広幸近作を語る』

講師 若林広幸氏

若林広幸建築研究所代表

* 時間は各日とも午後6時30分～8時

受託事業は現在、滋賀県長浜の地場産業活性
化プロジェクトに参画しています。

●総務・財務（担当常務理事 藤田）

総務委員会（担当理事 若林）

財務委員会（担当理事 熊谷）

各事業部局、委員会の事業を全体的な所から
把握し、それらが円滑に推進されるよう、影に
なり日向になり応援していく部所です。アメと
ムチを使い分けながら、（社）京都デザイン協
会が本来の目的を達成する力を、維持、継続、
発展させるべくきめ細かな活動を心掛けます。

会員より

●正会員 茨木善弘氏が去る9月18日～21日、
下京区堀川通七条上る 京つけもの西利本社2
Fにてフラワーパフォーマンスと小作品展を催
した。初日のパーティ&パフォーマンスにはデ
ザイン協会の会員も大勢参加し、茨木氏の前途
を祝福した。



●職場変更のお知らせ

正会員の太寿堂典子さんが㈱大丸京都店より
㈱石田大成社 西日本事業部 開発課 ニュー
メディアスタジオに移動しました。（10/5 受）

●会員移動状況●

8月24日から10月11日まで 順不同 敬称略
＜新入正会員＞14名

・遠藤文雄（商品デザイン）

・井上成哉（写真）

・松山季高（コットンファブリック）

・柏義和（建築意匠）

・木下邦夫（建築設計）

・伊藤翠慧（テキスタイル）

・中村和夫（建築意匠）

・河合康博（グラフィック）

- ・大野文隆（グラフィック）
- ・小坂井健輔（インテリア）
- ・元橋一裕（AD・イラスト）
- ・中井哲幹（コンセプト設定）
- ・平山純士（建築・インテリア）
- ・漆崎勝彦（広告・企画）

前号掲載の・上大進博氏の名前は上大迫博の誤りでしたお詫びして訂正致します。

＜新入賛助会員＞15社

- ・(株)ボーク（商品プランニング及び製造）
- ・和光(株)（呉服・和装小物製造卸）
- ・村田機械(株)（繊維・工作機械、物流システム機器、情報機器の製造販売）

- ・(株)山二（扇子製造販売）
- ・(株)フェイス（印刷）
- ・(株)聖護院八ツ橋總本店（菓子製造小売）
- ・(株)アウラ（グラフィック、インテリア企画販売）
- ・萬成証券(株)（証券業）
- ・大惣(株)（呉服製造卸）
- ・(株)メディアス（ディベロッパー）
- ・六和証券(株)（証券業）
- ・(株)京都書院（美術図書出版）
- ・(株)ユタニ家具センター（家具小売）
- ・野口計画(株)（建築・企画・設計・コンサル）
- ・美濃商事(株)（スクリーン印刷・資材機械販売）

第4回理事会より

〔開催日時〕平成2年10月11日（木）

午後6時30分～8時30分 ABL会議室

＜出席理事＞今西慧 本郷大田子 尾崎要

久谷政樹 嶋高宏 藤田頼伯 奈良磐雄

黒竹節人 大木ミヤ子 熊谷實 沢井敬子

園部正晴 鯛天成雄 樽家紀治 恩地惇

中村隆一

＜欠席理事＞田積司朗 山本竜一 宮川万樹夫

若林温子

＜欠席監事＞佐野武 河合玲

尾崎副理事長が議長となり議事を進行した。

■交流事業 サロン ハワイアンサロンの結果報告（大木担当理事より）

8月23日（木）午後6時30分より京都市国際交流会館で開催したこのサロンは、総勢200名を超える参加者により大成功であった。収支もおかげさまでうまく収まった。未収分については担当理事が責任をもって回収する。

■交流事業 賛助会員との交流「タテ・ヨコ・ナナメ」の結果報告（大木担当理事より）

9月10・11・12日 ABLホールで開催した賛助会員との交流を目的としたシンポジウムには、多くの参加者を得て成功裡に終えることができた。決算は未だ済んでいないので中間報告としてであるが、収支もうまく収まる見通しである。

■京都デザイン大賞コンペ '90について

（今西理事長より報告）

同コンペのポスター（久谷常務理事デザイン）が9月28日に刷り上り、京都市側とも協議して発送した。

理事全員には既に連絡済みの件。11月7日（水）午前9時～午後2時 日図デザイン博物館にて理事全員（20名）による予備審査への参加協力依頼。コンペ担当の今西、久谷、中村、鯛天の四氏は終日参加する。出席理事はこの件を了承した。

■会員増強運動と会費徴収状況について

（尾崎副理事長より報告）

会員増強運動は皆さんのご協力の結果大きな成果を収めつつある。（10月9日現在）

会員種	平成元年度	2年4月～	合計
正	86名	36名	122名
学術	3	0名	3名
賛助	37社	20社	57社
特別賛助	11社	1社	12社
特別	7名	0名	7名
会友	2名	0名	2名
準	2名	正会員へ	0名
	148	57	204

■財務報告（藤田常務理事より）

前期の財務状況は現在集計中であるが、会費収入の伸び、事業収入ともますますである。後期見通しも含め、次回理事会にて詳細を報告する予定である。

■会員の入退会について（尾崎副理事長より）

9月24日以降入会希望のあった2件についての審議。

正会員 漆崎勝彦氏 広告・企画プランナー

賛助会員 美濃商事㈱ スクリーン印刷他

理事会はこれを了承した。

■広報事業について（奈良常務理事より）

次号ニュースは11月上旬発行予定。

■受託事業について（嶋常務理事より）

長浜ちりめん工業組合の地場産業活性化プロジェクトへの協力が本年度も継続している。生地サンプルアンケートなどの実務的作業は、本郷副理事長、嶋の二人で実施に移している。

了承した。

■来年4月に開催予定の、ABLホールを使
てのイベントについて（嶋常務理事より）

内容の企画は今後交流事業で立案し理事会に計りたい。了承した。

■その他

○KDK創立35周年記念事業にかかる名義使用等の依頼に関する審議。

了承するが、賞金下付に関してはKDK理事長と今西理事長の細部打合わせを要する。

○「第62回誂友禅染競技大会」の開催に伴う賞状、並びに賞金下付の依頼に関する審議。

了承した。

○関連団体との連帯事業に関してのメモ

・京デ協第1回定例協議会(9/28)に今西理事長出席。

・NDKトータルモードショー(10/8)に今西理事長出席。

・ファッション・キョート・ネットワーク'90
オープニングパーティ(10/1)に今西理事長、諸江（事務局）出席。

・（財）建都1200年記念協会 行催委員会
(10/11)に今西理事長出席。

・京都新聞広告賞審査会(10/13)に今西理事長出席。

・福祉機器デザインコンペ'90 KYOTO 展の審査会(10/16)に今西理事長、大木、沢井理事出席。

・京デ協「第11回京都デザイン会議」企画委員会(10/17)本郷副理事長、大木理事出席予定。

・（財）大阪デザインセンター創立30周年記念

式典(10/24)に今西理事長出席予定。

・京都市パイロットショップ出品商品選考会
(10/25)に今西理事長出席予定。

・京都写真協会結成20周年記念パーティ
(10/26)に今西理事長出席予定。

・（社）京都産業会館創立25周年記念式典
(11/2)に今西理事長出席予定。

○報告

・特別賛助会員の京都銀行が『京都のサラリーマン・OLの「デザイン」に関する意識調査』を実施し、9月21日に結果を発表したことは京都新聞等で御覧になった方も多いでしょうが、このアンケートの項目設定の段階で（社）京都デザイン協会がお手伝いをした。

■京都デザイン協会サロンについて（大木理事）

昨年実施したシネマサロンは大好評であったので、今年も実施したく企画をした。今回は「映画、懐かしのタイトル集」で、1990年10月31日（水）午後6時より 河原町三条上る西側メディック ムツミ堂にて会費 3,000円（学生1,000円）軽食・ドリンク付き で実施したい。

理事会はこれを了承した。

■特別会員との交流を目的としたサロン開催に
ついて（尾崎副理事長より）

特別会員の先生方との交流を密にするための機会を作りたい。新年会より早い忘年会の時期に実現させたい。

理事会は藤田総務担当常務理事を中心に、今回は具体的な企画を沢井理事にお願いすることで了承した。

★クリスマスパーティの企画が進行中★

理事会で承認された年末クリスマスパーティの企画立案が沢井理事を中心に着々と進行している。企画の一部を一足早くお知らせすると、日時 12月12日（水）／場所 ファッションビル マイジャーホール（BAL南）／ハイビジョンの大スクリーンがあり／オールディーズのバンドを入れて楽しく早めのクリスマスパーティ、ダンスパーティをして盛り上げようというもの。『詳細が決まり次第連絡いたしますが、予定だけは開けておいて下さいね』とのこと。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★